# 07 農業・林業

# 北海道釧路市　小川　周次

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
39歳
【出身地】
北海道釧路市（旧阿寒町）
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.9～ R6.9
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

年に1,2回帰省する地元(釧路市阿寒町)がとても好きでしたが、結婚と法事をきっかけに帰省する機会が増え、生まれ育った町と人の良さに改めて気付き、生まれ育った町と育ててくれた家族へ直接的に役に立てることはないかと思っていたところ、協力隊の募集に応募し着任を機にUターンをしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

釧路の農業の課題創出とPRについてさらに努めていきたいです。特に、人材コーディネートや酪農体験施設ついて仕組化できる部分はないか、模索と協議を進めたいです。
また、地元の方々が自分達の町で行われている農業を知り、生産者や消費者にとっても誇りに思えるような発信を心がけていきたいと思います。

## 活動内容

**●新農業人フェアへの出展**

東京国際フォーラムにて行われた「新農業人フェアEXPO」へ釧路市農林課の方々と一緒に出展に参加しました。都市部にお住まいの方々の農業への関心を肌で感じ、今後のPR方法や釧路の強みと課題について行政の方々や農家さんと共有することができました。

**●お祭り等イベントへの参加**

FMくしろ主催の夏まつりでは牛乳消費拡大のPRとして牛乳券の配布や釧路の農業をPRを行いました。これを機会にラジオ出演や、農政事務所の方々との親睦も深まり他イベントでの協力や意見交換が行えるようになりとても良い出会いが生まれました。

**●釧路イオンで阿寒フェア**

阿寒町の特産品を集めた阿寒フェアを開催し、協力隊活動で知り合った農家さんや事業者に喜んでいただける販売会がありました。二日間のトータル売上が約100万円近くなり良いイベントとなりました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）Kushiro.chiikiokoshi.noson@gmail.com
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://https://www.instagram.com/kushiro_nouson_agriculture/
（Facebook）　https://www.facebook.com/kushiro.chiikiokoshi.noson

# 北海道北見市　齊藤　波来

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
神奈川県茅ヶ崎市
【転出元】
神奈川県茅ヶ崎市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.2～ R7.1（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私は農業に興味を持つとともに田舎暮らしにも興味を持っていました。さらに昔から豊かな自然に憧れを持っており、そこで暮らしたいという願望もありました。

また、地域活動に参加し、地域活性化を目指しつつ農業を学べる地域おこし協力隊というものはまさに自分の求めているものであると感じ、応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業を通じて地域を活性化していきたいです。また、地域の人たちと交流を深め、一緒に農業に携わることで農業の素晴らしさを発信しつつ、知識や技術の習得を目指して頑張りたいです。

任用後は北見市に定住して農業に携わる仕事をすることを考えています。そして、将来的には就農を目指して頑張りたいです。

## 活動内容

**●地域農家への農作業研修**

オホーツク管内でも有数の農業地帯である北見市端野自治区、その中の豊実・北登地域にて指導農家協力のもと、農作業研修を受けています。

馬鈴薯や玉ねぎ、大豆、甜菜、人参、シソ等、様々な作物の栽培に携わっています。

地域の人たちと交流を深めながら、新たな農業の担い手になるべく、日々経験を積んでいます。

**●地域のイベントへの参加**

地域のイベントに参加し、参加者とふれあうことで、イベントを盛り上げています。

また、農業だけでなく、様々な業種の方々と交流を深めながら、自身を多くの方々に知ってもらえるよう努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）ta.sangyo@city.kitami.lg.jp（電話番号）0157-56-4003

担当：北見市端野総合支所産業課農務係

# 北海道北見市　金沢　恵

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
22歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
兵庫県西宮市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.9～ R7.8（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

北見市での雇用就農を目指して求職活動をする中で、今の協力隊指導農家さんと出会い、協力隊を勧められたことがきっかけでした。

詳しい話を聞く中で、協力隊では幅広い現場の情報・支援をもとに、農業の知識・技術を身に付けられるところや、一定期間その地に居住することで地域への理解も深められるところに魅力を感じ、将来安心して就農に臨めるのではないかと思ったため、応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

普段から食への関心があり、食べ物を通して幸せになることもあれば、不幸にもなり得るという考えのもと、人に自然にやさしいモノづくりがしたいと考えます。このことから、有機栽培に興味があり、可能であれば挑戦してみたいと思っています。また、北見市には薄荷の歴史があることから、ハーブ栽培も挑戦してみたいです。

任用後は、北見市での雇用就農・定住を考えています。

## 活動内容

**●地域農家への農作業研修**

オホーツク管内でも有数の農業地帯である北見市端野自治区、その中の豊実・北登地域にて指導農家協力のもと、農作業研修を受けています。

馬鈴薯や玉ねぎ、大豆、甜菜、人参、シソ等、様々な作物の栽培に携わっています。

地域の人たちと交流を深めながら、新たな農業の担い手になるべく、日々経験を積んでいます。

**●地域のイベントへの参加**

地域のイベントに参加し、参加者とふれあうことで、イベントを盛り上げています。

また、農業だけでなく、様々な業種の方々と交流を深めながら、自身を多くの方々に知ってもらえるよう努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス）ta.sangyo@city.kitami.lg.jp（電話番号）0157-56-4003

担当：北見市端野総合支所産業課農務係

# 北海道士別市　鈴木　良美

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
千葉県
【転出元】
東京都
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ２.４～Ｒ５.３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

専門学生の時に実習で「羊と雲の丘」に来たのをきっかけに、地域おこし協力隊というものを知りました。

はじめは、現在の研修先である「羊と雲の丘」に就職を考えていましたが、周りからの助言もあり、協力隊の制度をつかい羊について学びながら現場に出たいと考えたからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期終了後は、３年間研修をさせていただいた「羊と雲の丘」に就職する予定です。今後は職員として会社に貢献したいと思います。

また、めん羊工芸館くるるんでの羊毛製品の製作も続けていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●めん羊の飼育管理

毎日行うことは、羊の餌やりや堆肥出し、怪我をしていないか体調が悪くないかなど確認するため観察も欠かさず行っています。

春には毛刈り、夏頃には牧草刈り、放牧管理、冬には羊の出産管理や補助などもあります。

（餌やり作業中の様子）

### ●世界のめん羊館

「世界のめん羊館」という観光施設があり、その施設内の業務もしています。

大型連休には複数のイベントを行っています。現在シープドッグショーの担当をしていて、牧羊犬と一から関係を築き、人・牧羊犬・羊がふれあえるように心がけショーを作っています。

（シープドッグショー練習の様子）

### ●羊の魅力･情報発信

Instagramのアカウントを作成し、羊の様子を飼育員目線で投稿しています。アカウント開設から２年ほど経ち、現在のフォロワー数は３００人を超えました。

羊が主な投稿ですが、イベント告知や牧場にいる他の動物たちも載せています。興味があればぜひフォローをよろしくお願いします。

（Instagram実際の投稿）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
士別市経済部畜産林務課畜産係
（メールアドレス）chikurinka@city.shibetsu.lg.jp
（電話番号）0165-26-7127
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　世界のめん羊館（@meeeestagrams)

MEEEESTAGRAMS

# 北海道名寄市　西川　僚

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
静岡県　富士市
【転出元】
静岡県　浜松市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.3～ R7.2
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道で独立就農したいと思い都内の新規就農フェアで名寄市を知り応募したことがきっかけです。応募までの間、名寄市へ2回訪問し農業体験や移住体験をしましたが、他市町村と比べて行政や農協のサポートが良さそうだと感じ、家族での生活や教育面にも不便さを感じないところも決め手になりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動期間中は地域に馴染むことを目標に、仕事にしっかり取り組むことはもちろん行事に参加し認知していただきたいです。また、気候が静岡とは全く違うので名寄市での農業の仕方を少しでも覚えていきたいです。
任期後は新規就農してもち米を中心とした経営を成り立たせることと、いずれは地域を担う農業者になっていきたいと思います。

## 活動内容

**米作り(代かき)**

田植え前の代かき作業でトラクターからの様子です。田んぼに水を張ると一面湖のように見えます。代かきは田植え、収穫に並んでの大きな作業のひとつです。土を均平にすることで稲の初期生育に大きく関わりとても大切で難しい作業です。

**●とうもろこし収穫**

とうもろこしを収穫しているところです。研修のため、ひとりで栽培管理してみました。他の農家さんにアドバイスいただき悪かった点がいくつか見つかったので来年は改善できると思いました。

**●なよろ産業まつり**

産業まつりに手伝いとして参加しました。農業が基幹産業のため餅まきやクイズの景品も農産品でとても盛り上がっていました。生産者は消費者と交流できる良い機会だと思いました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ny-hisyokoho@city.nayoro.lg.jp
（電話番号）01654-3-2111
（担当）総合政策部秘書広報課

# 北海道当別町　髙橋　健太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３２歳
【出身地】
北海道ニセコ町
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
Ｒ３．６～

## 協力隊に応募したきっかけ

当別町で農業アルバイトを経験したことがきっかけで、農業に携わりたいという思いが強くなったため、お世話になった農家さんからの紹介で地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは作物の生産技術をしっかりと学び、習得したいです。
将来的には、農業者として、地域の課題解決に向けて活動していきたいと思います。

## 活動内容

**●米づくりの習得**

・育苗ハウスの準備から、播種、苗の管理、田植え、生育管理、収穫、販売など、作業のほぼ全てに携わることができています。
・作業の全体に携わることができる農業は、とてもやりがいがあります。

**●花づくりの習得**

・ハウスや露地で、ヒマワリやカラーづくり（種まきから管理・収穫・出荷準備まで）をしています。
・今年からはケイトウもつくりはじめたため、特に夏場は大忙しです。

**●地域農業のPR**

・情報発信スキル向上に向けて研修を受けるなど、手法を学んでいます。
・２年目からは、実際に得た知識を活かして、当別町公式Twitterを通じて情報発信を始めました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
当別町経済部農務課
（メールアドレス）norin1@town.tobetsu.hokkaido.jp
（電話番号）0133-23-3091

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（当別町公式Twitter）https://mobile.twitter.com/town_tobetsu

# 北海道当別町　八代　昂憲

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２０歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ４．５～

## 協力隊に応募したきっかけ

当別高校で農業を学んできたこともあり、当別町で就農を考えるようになりました。
そのような中で、お世話になった農家さんからの紹介がきっかけとなり、地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは農業法人に就職し、地域に溶け込みながら、色々な作物の生産技術を習得したいです。
将来的には独立し、ハウスでトマトをつくりたいと考えています。

## 活動内容

**●米づくりの習得**

・田植え、生育管理、収穫、出荷作業などを通じて、米づくりを学んでいます。
・美味しいお米ができるように、丁寧な管理を行うよう心がけています。

**●南瓜づくりの習得**

・南瓜の播種、生育管理、収穫、調製、出荷作業などを通じて、南瓜づくりを学んでいます。
・つくっている南瓜の品種は栗五郎といい、ほくほくとした、栗のような甘さが特徴です。

**●地域農業のPRに向けた準備**

・地元直売所のイベントに参加し、消費者と対話しながら農産物のPRを行いました。
・地域農業の情報発信に向けて、研修を受講するなど、PR手法を学んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
当別町経済部農務課
（メールアドレス）norin1@town.tobetsu.hokkaido.jp
（電話番号）0133-23-3091

# 北海道岩内町　木村　秀彬

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都　荒川区
【転出元】
東京都　荒川区
【前　職】
ビルガラス清掃
【活動時期】
R３.９～

## 協力隊に応募したきっかけ

東京生まれ東京育ちの私は広く一次産業に興味を持っておりました。社会人として数年働く中で、北海道で農業をしたいという思いが強くなり、農業系の協力隊や、農業法人への就職を検討していた時、本募集を見つけ応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

新規就農を果たし、耕作放棄地の活用、特産品となるような作物の生産などによって岩内町の一次産業に貢献したいと考えています。また、将来的には農家民泊を営みたいと考えており、地元のお米、野菜、海産物、ジビエなどの地産地消が理想です。

## 活動内容

**●アスパラガス等の農作物の栽培**

耕作放棄地であった土地を2反ほど借用してアスパラガス、ミニトマト、なす、といった野菜を作り畑作を学んでいます。私は農業経験は無く、地元の農家さん方にご教授いただきながら取り組んでいます。収穫した野菜はわずかではありますが、地元の温泉で販売したり、地元企業に使っていただいています。

**●地元高校の総合学習への参加**

地元の高校にて「探求の時間」という授業があり、外部講師として参加しました。内容は、生徒達がいくつかの班に分かれ、それぞれが自由に決めたテーマについて疑問などを掘り下げて探求するというものです。私は大学から山登りに少し熱を入れており、「野外で食べるご飯はなぜ美味しいのか」というテーマで生徒達の活動をサポートしました。

**●ジビエ料理提供に向けた取組**

農作業のない冬季には、地元猟友会に加わり狩猟を学んでいます。念願であった狩猟に携ることができ大変有意義に感じています。また、本年度には役場関係者の方々のご協力もあり狩猟免許を取得することができました。農家民泊でのジビエの提供を目指しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kikkaku@town.iwanai.lg.jp
（電話番号）0135-62-1011

# 北海道知内町　松下　壮登

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道知内町
【前　職】
公務員
【活動時期】
R4.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

食の根幹を支える農業に興味を抱き、就農フェアで知内町の取り組みや職員のしっかりとしたサポートを感じたためインターン協力隊を経て、地域おこし協力隊として活動しています。

## 今後の抱負・任期後の目標

自分自身の新規就農のための農業研修に注力することが第1でありますが、それだけに終止することなく、自分と同じように「知内町で新規就農したい」と思える人が一人でも多く増えるように、各種イベントへの参加やSNSを活用した情報発信活動なども行っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●はじめてのニラ「北の華」調整作業**

北海道一の産地を誇るニラ「北の華」。パートさんと一緒にニラ調整作業を行いました。

**●ほうれん草収穫作業**

ほうれん草の収穫体験を行いました。インターン地域おこし協力隊の期間中は、ニラやほうれん草など様々な作物に触れることができました。

**●トマト生育勉強**

神奈川県から知内町に移住した滝川さんからトマトの生育などに関することを学びました。
先輩移住者として、農業に関することのほか町の生活環境などについても教えてもらいました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
知内町役場　政策調整課政策広報係　　担当：大谷
〃　　産業振興課担い手対策推進係：担当：沖津
（メールアドレス）mono@town.shiriuchi.okkaido.jp
（電話番号）01392-5-6161

# 北海道上ノ国町　米田　和子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
54歳
【出身地】
北海道　檜山郡江差町
【転出元】
北海道　苫小牧市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R３.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

出身地の檜山での生活を希望し就職活動をしていたところ、上ノ国町が隊員募集をかけているのを見つけた。
活動概要に「ぶどう栽培支援活動」と書いてあったため、子供のころ住んでいたことのある風景にぶどう畑ができることに興味がわいたことがきっかけとなり、応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

新型コロナウイルス感染症の影響で、栽培支援があまりできていないため、今後は新規でぶどうを育てている農家への支援などに力を入れたい。
また、あと半年ほどで3年目に入るため、卒業後に向けて経験を積みたい。

## 活動内容

**●醸造用ぶどう栽培に係る支援等**

上ノ国ワイナリーが令和４年１月にオープンし、町外の醸造用ぶどうによるワインづくりが始まっている。町内産の醸造用ぶどうによるワインづくりに向けて、令和３年から栽培が始まり果樹経営補助金申請や農地確認などを担当者と取り組んでいる。

**●上ノ国町内の物販PR**

以前住んでいた苫小牧市のつながりから、イベントに招待されたため、上ノ国町産の品物を持参し出展販売を行った。

**●任期満了後の活動に向けて**

任期中に町内外を巡回し、今後上ノ国町でどのような活動を行うことができるのか可能性を調査している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku@town.kaminokuni.lg.jp
（電話番号）0139-55-2311

# 北海道せたな町　今井　栄太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
20歳
【出身地】
大阪府　堺市
【転出元】
大阪府　堺市
【前　職】
私立浪速高等学校
【活動時期】
R3.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

未経験の酪農という仕事を１週間せたな町で体験をさせてもらい、この先も色々な体験をしていきたいと感じました。

せたな町は、山もあり、海もあり自然がある所や、家族で酪農を経営されている様子や人の温かさを知り、新しい未知のなかでの「酪農ヘルパー」という仕事につき、少しでも酪農家さんのお役に立てる仕事が出来ればと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は、搾乳や給餌、牛舎管理など２年目を迎え作業スキルアップに向け、日々取り組んでいますが、牛の発情や体調管理などまだまだ経験不足もあり、牛をしっかりと観察し判断出来るように成長していきたい。

将来的には、自分で牧場を経営出来るよう、せたな町でたくさんの経験をさせていただき、海外の酪農を勉強しに海外留学したいと考えている。

## 活動内容

**●酪農ヘルパー業務**

せたな酪農ヘルパー利用組合へ派遣をされ、ヘルパー職として町内の酪農家において搾乳や給餌・牛舎管理などの作業を担っている。

大型特殊自動車免許、車両建設機械作業免許を取得し、機械操作や新たな作業にも取り組み始め、日々活動している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
せたな町農務課
yuya.yoshida@town.setana.lg.jp　　TEL 0137-84-5111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
せたな酪農ヘルパー利用組合　https://www.setana-helper.com

# 北海道美瑛町　岸本　雅宏

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
千葉県船橋市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R３.９～R６.８
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍において、これまでの働き方や生活を見直すタイミングがあり、移住を検討。
美瑛町を移住先候補とし、仕事を探していた際に、地域おこし協力隊を募集していることを知る。
募集内容は「農業と福祉の連携業務」で、これまで携わったことがない分野だったが、前職の企業で発達障害のメンバーをサポートした経験も活かせると思い、協力隊に応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

美瑛町の農福連携事業は令和4年度で2年目となるが、運用や体制、障がい者へのサポート方法など、まだまだ課題が多い。
任期後も美瑛町で農福連携事業に携わり、障がい者の活躍の場を作っていきたい。現時点では、就労継続支援B型に所属する障がい者のみだが、将来的には不登校児童やひきこもり状態といった人々にも参加してもらえるユニバーサル農園を目指したい。

## 活動内容

**●美瑛町の農福連携事業について**

地域おこし協力隊として、農福連携ジョブコーチに着任。
農家の人手不足の解消と障がい者の就労場所創出を目的とし、美瑛町では「農福連携推進協議会」を設立（美瑛町役場が主体）。
農福連携ジョブコーチ（地域おこし協力隊1名、委託1名）が障がい者に農作業の指導やサポートを実施。
　※ジョブコーチは、美瑛町新規就農アドバイザーから技術サポートを受ける

**●障がい者に農作業指導やサポートを実施**

障がい者が農家で作業を実施できるように、実習として町内のビニールハウスでトマト栽培を実施。
障がい者に栽培技術の指導や作業サポートを行なう。

**●障がい者の農家派遣実習のサポート**

農家に障がい者雇用を体験してもらうことを目的に、ジョブコーチが障がい者を引率し農家で作業を実施。
障がい者主体で実施するため、ジョブコーチとしてサポートや体調、安全管理などを行なう。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）soumu@town.biei.hokkaido.jp
（電話番号）0166-92-1111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
NHK「いいいじゅー」
https://www.nhk.jp/p/ts/J7775NQ8GW/episode/te/Q27Z77686G/

# 北海道白老町　野田　和規

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
佐賀県小城市
【転出元】
佐賀県小城市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生時代から自然の美しさを伝える仕事をやりたいと思っていました。
そんななか東京で知り合った方から、白老町の森林ガイドとしての地域おこし協力隊を紹介していただき応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

白老町にあるポロトの森をメインフィールドとして、ガイドを生業にしていきたい。
また都市でも森の美しさを伝えていきたいので、札幌でも道外でも活動の幅を広げていきたい。

## 活動内容

**●ポロトの森　ガイド**

ポロトの森にて四季に合わせた自然ガイドをやっています。冬はイタヤカエデの樹液採取から始まり、秋はキノコガイドや鮭ツアーを行っています。

**●ワークショップ　講師**

三年目の活動からは、札幌や道外（福岡や京都）で出張ワークショップを行っています。
内容はお茶や薬草飴を作ったりするワークショップです。

**●民泊事業**

町内にて野草を軸にした民泊の運営をしています。
道内外の自然好きの方に利用していただいています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://nodateyasou.life/

# 北海道厚真町　渡部　真子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３５歳
【出身地】
神奈川県　川崎市
【転出元】
北海道　恵庭市
【前　職】
観光牧場
【活動時期】
Ｒ３.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

厚真町で協力隊を経て独立した西埜さんと元々知り合いで、私が前職の牧場を辞めた際に、西埜さんが札幌で行っていた馬搬現場を訪れ、働く馬がいる林業現場がとても面白い！と思ったことがきっかけです。ちょうど厚真町の協働型協力隊の話が出ていた時で、この制度を使って新しい分野でやってみたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

馬搬、森林について理解し、一人でもできる知識と技術を身に付けたいです。また、丁寧な木材搬出や手作業の多い仕事ならではの材や山の恵みを販売に繋げられる事業を行いたいと考えています。
ハスカップ栽培にも力を入れたいと思っています。農業について学びを深め、農薬や化学肥料に頼らない農法でハスカップや野菜などを持続的に育てることも目標の一つです。
また、馬と子どもたちの活動の幅を広げ、自然と動物と子どもを結びつけた仕事をしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●馬搬**

馬搬現場は２シーズンやって少し慣れてきています。何が危ないか感じながら安全に作業できるようになってきたと思います。まだ伐倒や、選木が難しかったり、樹種の知識も浅く勉強したいことが山積みですが、馬との会話は以前よりうまくでき、安心して木を運べるようになってきたと思います。

**●ハスカップ栽培**

地元のハスカップ農家のおばあちゃんから３００株ほどを借りて、剪定や摘み取りなど栽培方法を学びながら出荷まで行っています。今年は札幌のレストランに売り先が確保でき、去年より売り上げをあげることができました。大変な仕事ですが、地元の方が温かく受け入れてくださって、嬉しく思います。

**●馬と子供の活動**

月に３回ほど厚真町内の小学校に馬を連れて行き子供達と馬搬や、馬ソリ、乗馬や森の整備を楽しんでいます。回数を重ねると上手に馬を扱える子が増えてきたり、何が危ないか子どもたち自身で気づける場面もあり、日々の変化が楽しいです。子どもたちのやりたい！を伸ばせると良いなと思っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（メールアドレス）iju@town.atsuma.lg.jp

# 北海道厚真町　佐々木　拓哉

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
広島県　安芸太田町
【転出元】
兵庫県　市川町
【前　職】
木材加工業
【活動時期】
R3.8～ R6.3
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

森林資源を活用して地域に貢献することに関心がありました。

受入企業となる株式会社西粟倉・森の学校が厚真町に支社を立ち上げることを知り、地域資源の発掘を得意とする同社と一緒に挑戦したく、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

木材の消費先がこれまでなかった町内に、集積地を整備し、町内で木材が循環する仕組みをつくりたいです。それを起点に、町外へも販路を拡大することで、森林整備を促進する役割を担いたいです。

## 活動内容

**●木材チップの供給**

町内に導入される木質バイオマス発電所へ、木材チップを加工・供給します。必要な機材の選定など、情報収集を進めています。

**●木材の集荷**

町内で伐採される木材の買付け・集荷をします。今後は製材用、チップ用など、用途に応じた選別・流通させることを目指しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iju@town.atsuma.lg.jp

# 北海道平取町　登口　真理

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
35歳
【出身地】
北海道　札幌市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４.４～

※本人は写真の中央です。

## 協力隊に応募したきっかけ

2020年10月頃に札幌市で開催された平取トマトのイベントがあり、就農に関する相談会も併せてやっていたので話を聞きに行きました。もともと農業に興味もありましたし、コロナにより仕事も減り、将来への不安から、地に足の着いた仕事がしたいなと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

無肥料栽培や循環農法等、今の時代に合った農業を自分なりに模索しつつ、トマトや農業に限らず、果物作りなどにも携わっていき、農業で安定することを目標に頑張っていきたい。

## 活動内容

**●トマト栽培**

トマトの栽培作業は冬から始まります。トマトは収穫時期を分散させるために、早いハウスは3月から定植作業を行い、その後、6月頃まで定植作業を行います。定植後は、摘芽や防除などの管理を行い、11月中旬頃までトマトの収穫作業を行います。

**●寒締めほうれん草栽培**

平取町ではトマトの収穫後、冬期間のハウスを活用し、寒締めほうれん草を栽培しています。秋に播種を行い12月から収穫を行います。
寒さで葉が凍らないように、縮みながら糖分を蓄えるため、甘くて美味しいほうれん草になります。

**●加工品づくり**

受入先の農園がある平取町岩知志地区には、農産物の加工施設があるため、農閑期には地域の方たちと一緒にびらとりトマトを使ったジャムや味噌などの加工品づくりを行い、地域の皆さんと交流をしています。

## 連絡先

# 北海道新得町　櫻田　亜里沙

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
東京都　立川市
【転出元】
東京都　立川市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R2.4～ R5.4
（3年目）

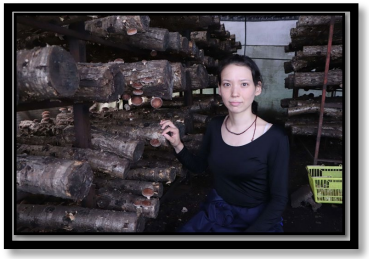
## 協力隊に応募したきっかけ

夫が新得町の協力隊に入ったのがきっかけで、この募集を知りました。新得産ではないのですが、昔食べた原木しいたけの美味しさがとても印象的でした。それ以来、しいたけ狩りに行くなど興味を抱いていたこともあって、この仕事に決めました。

## 活動内容

**●日々の仕事**

4つの農家さんのしいたけと関わりがあるので人によってしいたけの違いを知ることができて勉強になりますし、この仕事をしていなければ、この先使うことはなかったであろうもの（草刈り機、チェンソー、ドリルなど）を使うのは、最初慣れるまで苦労しましたが、今では使えるようになり、とても嬉しいです。

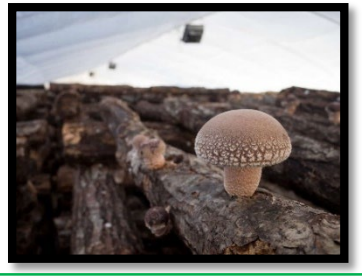


**●活動記録**

農家さんごとにしいたけ栽培における菌の種類に違いがあって、最初は戸惑いましたが、菌の違いによって出すことができる味があると言うことを知り、勉強になりました。しいたけのよしあしを見分けるのは簡単のことではありませんが、日々の業務の中でなれてきて、楽しく仕事ができています。

**●しいたけの魅力**

しいたけは、適切な温度、湿度などの環境がなくとも生育することは可能ですが、しっかりとした環境で生育していくことで、より洗練されたしいたけを栽培することができます。



## 今後の抱負・任期後の目標

退任後は町に残り、夫婦で起業し、エゾシカ肉を活用した加工品をオンライン販売するため、新得町の特産品PRや販路拡大・販売促進に寄与し、町の魅力を発信していけるような取り組みを進めていきたいと考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chisen@town.shintoku.hokkaido.jp
（電話番号）0156-64-0521
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

町公式インスタ

町公式ホームページ

# 北海道新得町　佛坂　樹華

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
北海道　旭川市
【転出元】
千葉県　千葉市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R3.6～ R6.6
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私自身が子どもの頃から登山やキャンプ等で自然の中で体を動かすことに慣れ親しんできたため、自然の中で仕事をしたい、自然を守る仕事がしたいと感じ、林業関係の仕事を探していた際に新得町が林業部門で地域おこし協力隊を募集しているのを発見し、応募しました。

## 活動内容

**●日々の仕事**

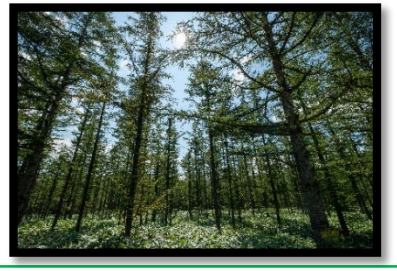
現在は、地域の方たちや子どもたちに森林の大切を伝えるために「木育」に取り組んでいます。今年は、切った木をスウェーデントーチにしてバームクーヘンを作ったり、木の再利用として子どもたちと木製のおもちゃを作成するイベントを開催し、やりがいを感じています。

**●活動記録**

「木育」という活動を通じて、各方面から活動依頼が入るようになりました。地域おこし協力隊として、林業の魅力発信をすることができる場が多くなってきているのは自分の活動が実を結び始めていると感じ、うれしく思います。

**●林業の魅力**

林業は、近年のゼロカーボンや環境保全といった国内で重要視されている資源のひとつだと思います。木で家を建てることができたり、廃材から、おもちゃを作ることもできる。また、自然災害から町を守ってくれる時もある。林業にはそんな魅力があると私は思っています。



## 今後の抱負・任期後の目標

木育マイスターになることができたので、各種助成等を使いつつ木育活動を展開していきたいです。具体的には自然学校のような拠点を作りたいですが、課題も多く実現することができるように今後の活動でどのようなことが必要なのか勉強しながら取り組んでいきたいと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chisen@town.shintoku.hokkaido.jp
（電話番号）0156-64-0521
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

町公式インスタ　　町公式ホームページ

# 北海道本別町　小宮　航一

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３１歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
北海道江別市
【前　職】
書店員
【活動時期】
Ｒ１．１ ～ Ｒ４．１
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

鳥獣が多く、ハンターとして活動しやすい北海道に移住し、銃猟免許の取得に向け活動していたところ、求人サイトに有害鳥獣捕獲を業務とした地域おこし協力隊の募集ページを見つけ、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

具体的な目標は決まっていませんが、有害鳥獣による農林業被害防止は、地域に必要な仕事と思っていますので、引き続きハンターとしての活動を考えています。

## 活動内容

### 猟銃や罠に使用した有害鳥獣の捕獲

農業者から有害鳥獣による被害のあった畑の脇に罠を設置することが多いですが、時には猟銃を使用して捕獲しています。カラスやキツネ、アライグマ等は箱型の罠を使用し、罠のなかに種類に応じたエサを設置して、捕獲率を高める工夫を行っています。

### 地域の猟友会と連携した活動

農業被害の軽減を図るため、特に被害の多いエリアを定期的に地域の猟友会と巡回し、猟銃による捕獲を行っています。狩猟期には、エゾシカが多く生息している場所で、複数人による追い込み猟を実施しています。

### 本別町地域おこし協力隊によるイベント開催

現隊員４名による地域イベントを実施。各隊員の紹介や日ごろの活動がわかる展示、各隊員の分野ごとに催し物を行い、地域住民と交流しながら隊員活動の理解を深めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　tiikisk@town.honbetsu.hokkaido.jp
電話番号　0156-22-8121

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook ：https://www.facebook.com/honbetsu.chiikiokoshi

# 北海道厚岸町　佐倉　咲之介

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
サービス業（イベント運営関係）
【活動時期】
Ｒ3.０９～Ｒ6.０９
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

幼少より自然が好きで、自然に関わる仕事に従事したいという思いがありました。また、もともと牡蠣が好きで、牡蠣まつりの時期はよく訪れており、妻も厚岸町出身ということでなじみがあったので、町のホームページで林業隊員の募集を見てすぐに応募を決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

・林業に係る知識・技術等の習得
・森林整備の適正な実施に向けた森林所有者への提案等
・林業従事者の交流活動の企画、実践

## 活動内容

**●標準値調査**

山林にて、標準値調査を行いました。
2か所調査し、その山のおおよその木の本数と、そこから何パーセント切るか調査しています。

**●下刈り作業**

下刈り作業は、秋・春に植え付けした苗木の周りにある雑草を刈払機で除去する作業です。この作業の目的は、苗木の周りの雑草をそのままにすると日光を遮られたり、水分を奪われたりして健全に育たなくなるため、それらを事前に防止するためのものです。

**●苗木植え付け**

町有林、民有林の植え付けを２人１組で行っております。去年の秋の植え付けと比べ、植え付けのスピードも上がり、本数も増えているため、自分でも成長を実感できました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）seisaku@akkeshi-town.jp
（電話番号）0153-52-3131
（総合政策課政策調整係）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
（Facebook）https://www.facebook.com/akkeshi.chiikiokosi

# 北海道別海町　三原　萌佳

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
大阪府寝屋川市
【前　職】
会社員（税理士事務所）
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

自然の中で身体を動かす仕事をしてみたいと思い、主にネットで検索して各地の協力隊の方々がUPしている動画やSNSを参考に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

自分自身が体験した酪農の素晴らしさを、今後はたくさんの人に伝えてPRしていきたい。別海町で新規就農したいと思ってもらえるように酪農だけではなく、町の良さも広く認知されるような活動を続けたい。

## 活動内容

●「べつかい酪農女性プチサミット」の開催、運営

酪農に関わる女性が集まり、ともに学び交流を深める会を開催。今回のサミットのテーマ『ロスを減らそう時間を作ろう』に基づき、講師のデイリーコンパス 久富聡子さんによる講演会と、グループでのワークショップ行った。(参加者：９０名)

●全国紙「DAIRYMAN」の表紙

協力隊として町内外での地道な広報活動が普及所職員の目に留まり、編集者へ表紙モデルに推薦いただく。酪農業界ではメジャーな酪農情報誌の表紙を務めたことで、全国的に町を認知してもらえるきっかけに。(R4年10月号)

● 移住者密着のテレビ番組に出演

NHKの「いいいじゅー」という番組に出演決定(放送は12月予定)。酪農の技術・知識０から始めた牧場での暮らしや、SNSを使用した広報活動の様子を撮影していただき、酪農はもちろん町の魅力を伝える。30分の全国放送番組のため、幅広い層へのアプローチが期待でき、町のPRにも貢献。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nousei@betsukai.jp
（電話番号）0153-75-2111（内線1419）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram（betsukai_kenboku）
Facebook （別海町酪農研修牧場）

Instagram　Facebook

# 岩手県盛岡市　阿形　正

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
東京都杉並区
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
バス運転士
【活動時期】
R３.８～
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

20年ほど前に趣味の登山をしている際にパークレンジャーの方から、シカによる針葉樹林の食害の話を聞いたことで被害の大きさと深刻さを知りました。その一方、山中では駆除目的で殺処分されたシカが適当に処理されている姿を目にすることもありやりきれない思いにもなりました。

そうした体験を通して、鳥獣被害で困っている方々の手助けをしつつ、処分された鳥獣の有効利用に携わりたいと考えるようになったことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

まず、狩猟の知識や技術を学んでいきたいと考えております。現在は地元の猟友会の方々と行動することが多く、知識や技術のみならず経験や地域の特性も学んでおります。今冬からは猟銃を使用した捕獲にも挑戦していき、現場での経験を積んでいきたいと思います。

また、捕獲のみならず農作物等の被害が減少するような防護法の調査や、地域の方々との協力体制の構築を継続して行っていきたいとも思っております。

## 活動内容

### ●鳥獣被害の現状確認

玉山地域での鳥獣被害を把握するために実地調査を行いました。昼間には被害のあった農地へ赴き被害作物や足跡の確認をし、夜間には監視カメラによる生息鳥獣の確認をしました。鳥獣毎に有用な罠や餌が違うため今後の活動のための基礎となる活動でした。

被害のあったデントコーン畑

### ●罠の設置及び見回り

猟友会の方々と協力し、罠の設置、見回り及び捕殺対応を行いました。罠の設置方法や場所を指導してもらうだけでなく、撒き餌さを使用することで効果的に捕獲できるよう自分なりの工夫もしました。令和４年度には玉山地域で初めてのイノシシ捕獲にも協力することができました。

設置されたクマ罠

### ●地域の方々への広報活動

地域全体で鳥獣被害を防止する“地域ぐるみの被害防除体制”を確立することができれば、今よりも鳥獣による農作被害が減少すると考えております。そのためにも地域住民への広報活動などを行っていければと思います。本年は地域の集会で鳥獣被害や対策についてお話しすることができました。

地域の集会で説明する阿形隊員

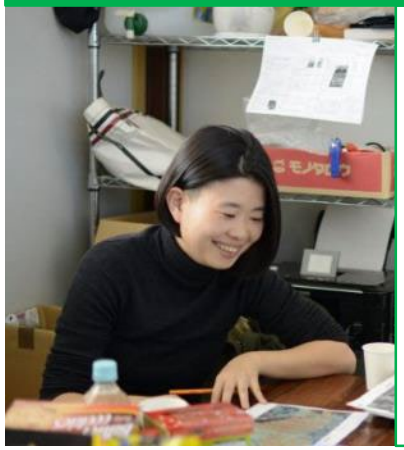
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tamayama.jyugai@gmail.com
（電話番号）019-683-3852（盛岡市玉山総合事務所産業振興課）

# 岩手県北上市　松岡　冴

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都　大田区
【転出元】
東京都　大田区
【前　職】
製造業
【活動時期】
R1.4～ R4.4
(卒業済み)

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の倒産後の就職活動中に地域おこし協力隊制度を知る。
養蚕に従事したいという夢があり、養蚕関連の地域おこし協力隊を探し、いろいろな地域のものを見てきた。
その中で北上市の環境の良さに触れ移住を決意。
2019年に着任した。

## 今後の抱負・任期後の目標

今は就任していた地域の空き家を改装し移住、染織工房・養蚕場・桑畑を設立し、本格的な活動拠点を作る。
桑畑から養蚕、養蚕からとれた繭を染織・製糸して、販売までを行う6次産業を現在行っている。
今後は養蚕・絹製品の製造・販売を主軸にしつつ、イベント・体験などを通した養蚕の普及活動も行いたい。

## 活動内容

**●地域イベント活動**

手織り体験を通して養蚕の認知を広める活動。
持参した手織り機を使い織りの楽しさから入り、絹糸に触れる体験を通してシルクが何から出来ているか、シルクの歴史などを描いたチラシを配布するなどした。
子供から大人まで楽しめるイベントを目指す。

**●養蚕農家として独立準備**

養蚕農家として独立・定住を目標に活動。
お蚕さんの飼育だけでなく、餌になる桑の育て方、桑畑の整備の方法を学ぶ。
同時に独立のための空き家・空地探しを行う。
今は空き家をDIYして定住、家の前の空き地を利用して桑畑を作り、そこから養蚕をしている。

**●染織工房・オリジナルブランド展開**

大学のころに学んだ染織技術を生かし、2019年染織工房「さらのき工房」を立ち上げた。
繭から絹糸を製糸したり、染め・織りができる設備を整え、養蚕から製品販売までの基盤を作る。
2022年にオリジナルシルクブランド「SaLa Silk」から初のシルク商品を販売、岩手県内で販売中。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・Twitter　https://twitter.com/WiYAVQ5y8QYe1WE?t=Nn1VKBxoCP-yzahGvT7fzw&s=09
・Instagram　https://instagram.com/saranokigongfang?igshid=YmMyMTA2M2Y=

# 岩手県北上市　髙橋　愛衣

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
埼玉県　富士見市
【前　職】
県庁職員（一般事務）
【活動時期】
R2.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

北上市には父の実家があり、高齢の祖母が1人で住んでいました。介護のために移住するに当たり北上市内での職を検討していたところ、協力隊の募集を知りました。
「将来の養蚕農家育成プロジェクト」との募集内容で、昆虫や伝統産業に興味のあった私は迷わず応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在、地元企業さんと共同で、養蚕を地域に復活させる活動をしています。体験イベント等を通して、ある程度地元での認知を得ることができたと感じています。
ただ、生産した繭は市外に出荷するのみで、市民の皆さんのお手元に届く機会がないのが現状です。
今後は繭細工（規格外の繭を使った花や人形等の作品）や繭サック（繭をそのまま利用する洗顔グッズ）等の商品を地元の方に届けていきたいと考えています。

## 活動内容

**●養蚕**

受け入れ団体である地元企業「㈱更木ふるさと興社」さんと共同で、年４回の養蚕を実施しています。
生産した繭は製糸工場へ出荷するほか、盛岡市の健康食品会社へも研究用として提供しています。
また、古くなってしまった桑畑を再生させるべく、新たな苗木の育成を行っています。

**●繭細工**

企画外で出荷できなかった繭を利用して、花や人形を作成しています。これまでに市のイベントで使用いただける胸章を作成したり、市内のクラフト市に出店して販売したりしました。
市内の桜の名勝である「展勝地」の桜を使用した、繭の草木染にも挑戦しています。

**●子供向けの本の制作**

「養蚕ってなんだ!?ゲームブック」というタイトルで、遊びながら養蚕を学べる本を制作しました。小学生向けの内容としていますが、大人の方々からもご好評いただいているようです。
市内小学校や全国の公立図書館に寄贈させていただいたほか、インターネット通販も実施しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Twitter　：https://twitter.com/sericultureKTKM
Instagram　：https://www.instagram.com/sericulturektkm/?hl=ja
通販（BASE）：https://sericulture.base.shop/

# 岩手県久慈市　阿部　大地

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
岩手県久慈市
【転出元】
北海道苫小牧市
【前　職】
プラント内設備の防災・運転・維持管理業務
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

両親も高齢化しており、地元に戻り定住したいと思っており、それを実現させるため、地元で生活出来る仕事を作りたいと考えたことが協力隊に応募したきっかけです。
地域に必要とされる事業なら需要もあり、存続していけると思い、久慈市の地域問題である「白樺林の寿命の問題」に着目し、木の幹から醸造する「木のお酒」や白樺林の未使用資源の活用をその問題解決の一助に出来ればと思っています。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負
・白樺・クロモジ・松を使用したハーブティーの製品化を目指します。
・テントサウナでのイベントを開き、一般の方に来てもらえることを目指します。
・木のお酒を実現するため、協力者や可能性を探し、進められる部分を増やすことを目指します。
任期後の目標
上記の事業化、地域資源活用に関するアイデアの事業化

## 活動内容

**●木のお酒について**

木を構成するセルロースは糖の塊であるが細胞壁により発酵が難しかった。その細胞壁を細かく砕くことで木自体の醗酵を可能とする技術が「木のお酒」となります。白樺で木のお酒を作る為、白樺林の現状や必要な技術や設備などを確認し、協力者や人材を募っています。

**●白樺・クロモジのハーブティー**

白樺の葉やクロモジの枝葉などの地域の未使用資源を使い、ハーブティーの試作品を作成した。飲料や香りを楽しむアロマとして製品化を目指しています。現在は葉の収穫や製造場所など飲料として出すための課題を確認しています。また、この地域の松を南部アカマツと呼びます。いずれはマツのハーブティーも考えています。

**●ヴィヒタ、テントサウナイベント**

サウナで体を叩くために使う白樺の枝葉を束ねたものを「ヴィヒタ」と呼びます。また、野外で気軽にサウナを楽しめるサウナテントというものがあります。現在、日本ではサウナがブームとなっています。未使用資源の白樺の枝葉や薪をテントサウナイベントで活用し、商品や地域のPRをして地域おこしに繋げたいと考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）d-abe@city.kuji.iwate.jp

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
今後、作成予定

# 岩手県一関市　山崎　裕也

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
43歳
【出身地】
茨城県水戸市
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
株式会社ADEKA
（加工食品研究開発）
【活動時期】
R2.11～

## 協力隊に応募したきっかけ

食の開発に携わった中で、持続可能な食の循環社会を目指す仕事をしたい思いが高まり、ローカルな場での活動を考えた。 地域課題のセミナーなどに参加する中で、（一社）いわて圏主催イベントにて、当市の協力隊の募集を知った。

## 今後の抱負・任期後の目標

西洋野菜の産地化というテーマで活動する中で、生産者や飲食店など食に関わる様々な方々とつながることができた。そして、皆様が抱える地域の生産流通に関わる課題を知ることができた。
今後は、これらを解決するための仕組み作りを進め、持続可能な食の循環社会の実現に向けて行動していきたい。
そして、地域のみなさまに温かく受け入れられていることに感謝し、将来の一関市の形について対話して、仲間をつくりたい。

## 活動内容

**●西洋野菜の生産者の拡大**

一関市の新たな園芸品目として、西洋野菜の産地化に向けて取り組んでいる。市場需要や栽培適正の観点から、エシャロット（西洋タマネギ）とリーキ（西洋ネギ）を特産化の軸に据えることとして、市内農家と協力し、適正な栽培方法の確立、品質規格の設定を行っている。

**●西洋野菜の認知拡大**

市民へのPR、そして生産者と飲食店のつながりをつくるイベントとして、市内飲食店で、西洋野菜を使った期間限定メニューを提供する「ＨＥＬＬＯ！セイヨウヤサイフェア」をこれまで3回実施した。

**●西洋野菜の販路開拓**

西洋野菜の生産者たちとともに、販売PRをする組織「西洋野菜プロジェクト」を設立した。“いちベジ”ブランドの立ち上げ、道の駅や産直と協力した市内外の販路開拓を行っている。
また、地産地消の仕組みづくりにデジタルを活用するべく、一関工業高等専門学校と共同で進めている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0191-82-3050 :南部農業技術開発センター
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.facebook.com/ichinosekiyasai

# 岩手県釜石市　三科　宏輔

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県相模原市
【前　職】
株式会社パソナ
【活動時期】
R4.4～
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

僕は「自分の人生全うしているか」の問いに“yes !”と即答できないモヤモヤしていた会社員でした。
ご縁があり、釜石に訪れた際に“生”を実感しながらイキイキと活動されている方々とお会いし、「僕もこの地域で人生全うしたい」という感情抱き、釜石移住を決意しました。
以前より興味を持っていた「農・食」に関連する地域おこし協力隊の募集情報を入手し、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

現代の農業のあり方として、『作物に対しての価値交換』が主にあると思います。もちろんその軸も持ちながらも、「消費を促し、価値交換をする」選択肢以外の新たな農のあり方を探求していきたいと考えています。
任期後何年かかるか分かりませんが、“日本の古き良き暮らし”を農を中心に継承に挑戦し続けていきたいです。

## 活動内容

### ●遊休農地の活用（そば生産）

約11.5ha(東京ドーム2.5個)の圃場でのそば生産。担い手不足や重労働等を背景に圃場管理業務を担当。圃場整備や生産活動の補助に従事。

※今年の収穫量は約1トン（全盛期10トン）
来年度のより良い生産活動に向けて栽培計画中。

### ●地域資源の活用（狩猟/ジビエ）

年間1400頭焼却処分されている鹿を活用を目指す。ハンターの担い手不足や高齢化等の背景もあり、鳥獣被害は年々増加中。現状を打破する種火となる担い手狩猟者のロールモデルを目指す。

※免許取得し(第一種/罠)、本年度より狩猟開始予定

### ●暮らしの発信

“モノに溢れ、便利さに溢れている生活”とは異なる僕なりの豊かな暮らしをyoutubeにて配信中。古民家改修や畑づくりなど、日常に溢れる豊かさや地域の魅力を発信。

※投稿日：毎週土曜日18:45～

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（Youtube）　東北古民家暮らし
【都会出身 脱サラリーマンの日常】

(YouTube)

# 岩手県西和賀町　西崎　太郎

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
岩手県盛岡市
【転出元】
岩手県西和賀町
【前　職】
羊の牧場従業員
【活動時期】
R2.05～

## 協力隊に応募したきっかけ

北海道で仕事を辞める際、いつかは羊飼いになりたいと思っていました。ちょうどその時に、高校からの友人に今住んでいる西和賀町で羊を飼い始めないかと勧められ、沢内貝沢のこの場所を紹介してもらいました。

## 今後の抱負・任期後の目標

健康的で魅力ある羊を育てることやおいしい羊肉や羊毛、毛皮など質の良いものを県内に出荷していきたいと考えています。岩手県内の羊飼いの方々と共に岩手ブランドの羊を育てていきたいと考えています。
ラウムルファームとして地域の羊飼いの方々をサポートしつつ、自分が目指す羊を育てていきたいです。

## 活動内容

**●羊との日常**

朝、夕方に日々のエサやり。
放牧地の羊の健康チェック。
羊は病気をしても、あまり表には出しません。小さな変化に気付けるように日々観察をしています。

**●季節ごとの仕事**

羊の繁忙期が季節ごとにあります。
毛刈りと分娩です。4月下旬から5月までは毛刈り。
1月から3月にかけて分娩があります。
町内に飼われている羊が、自分の羊を除いても約15頭います。この羊たちの毛刈りも担当しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Twiter）https://twitter.com/SheepRAMWOOL

# 岩手県住田町　佐々木　裕郷

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
埼玉県大宮市
【転出元】
東京都町田市
【前　職】
NPO法人スタッフ
【活動時期】
R2.7～ R5.6
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々大学生の頃に住田町の隣の陸前高田市に活動しており、卒業後は岩手に行きたいと考えてました。その中で住田町の「農を繋ぐプロジェクト」の募集があり、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

専業農家としての生活というより、研修を受けた身として移住者が地域に根ざす１つの大きな武器として3年間の農業研修期間を活かしていきたいです！自分の中では紆余曲折はありながらも、長くこの地に関わっていける人になりたいと考えています。移住者としてこの地で暮らしていくのに大切な技術の一つとして農業との関わり方を作っていきたいです。

## 活動内容

**●修行の毎日**

町内の育苗農家さんのところで修行中です。
農家さんや家庭菜園を楽しむ方に向けて良質な野菜苗を育て、お届けする農家です。
ある程度の量を作る育苗農家は住田町や近隣の市を含めても片手で数えるほどしかいません。それくらいニッチな業界です。

**●苗を大事に育てます！**

根がよくはった、体格の良い苗を理想とし、育てています。

**●日々の活動について**

季節、天候、気温、湿度、出荷時期など様々なことを考慮しながら行う水かけや土作り、温度管理は1年ちょっとの経験で満足な技術にはなっていませんがとてもやりがいのある仕事です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nousei@town.sumita.iwate.jp
（電話番号）0192-46-3861

# 岩手県大槌町　大邉　慧之

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
三重県桑名市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
設備業　現場監督
【活動時期】
Ｒ４.７～

## 協力隊に応募したきっかけ

たまたまyoutubeで自伐型林業を営んでいる夫婦の動画を観て、自分もこんな生活がしたいと興味を持ち、移住サイトに登録していました。そんな時、妻の実家のある岩手県から地域おこし協力隊員の募集があり、お試しちおこ制度というものを利用して大槌に来てみたところ、自分に合った生活ができるのではと感じ応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、主軸としている林業の専門的な知識を身につけ、独立してからもそれを生業にしていくことを目標にしています。また、協力隊員の３年間の任期の中で、林業に絡めた副業も探していきたいと考えています。現状では、地域のニーズにあった事を模索中ですが、木工製品と子どもの知育を職業としていけたら面白いのではないかと考えています。

## 活動内容

### 現場作業

勤務先のＮＰＯ法人では、役場や個人から依頼された小規模間伐を中心に行っています。大型重機などが入って作業できない現場での人力作業のため、チェーンソー、ウィンチ、ロープ等を駆使して作業を行っています。

### 木工教室

勤務先のＮＰＯ法人では、地域の公民館などをお借りして、小中学生を対象に木に親しんでもらうための木工教室を定期的に開催しています。木が私たちの生活にどのように関係しているかを学ぶ、ＳＤＧｓに深く関係する活動となっています。

### 薪祭り

今年で１０回目の開催となるＮＰＯ法人吉里吉里国が主催のイベントです。震災後に始まった地域復興活動の一つで、岩手県のみならず他県からも多くの人々が参加する年に一度の一大イベントとなっています。私はその中の木工ブースを担当しました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（note）https://note.com/keishi_obe

# 岩手県田野畑村　中野渡　和也

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
青森県青森市
【転出元】
青森県青森市
【前　職】
農業法人
【活動時期】
R2.12～

## 協力隊に応募したきっかけ

山林が多くを占める田野畑村において、地域の特性を生かした放牧型酪農である山地酪農に魅力を感じたことがきっかけでした。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在は、牛舎での飼育と一部放牧を実践している酪農家を中心に酪農家の作業を研修していますが、任期後に就農できるよう、酪農家の皆さんとの関係を大切にし、営農に向けて計画をたてています。

## 活動内容

### ●春の訪れを感じ、牛も大喜び

酪農家が放牧している牛たちも、どんどん山奥に進んでいく光景が見られるようになってきました。暖かくなり牛の喜びようは凄いものです。
急斜面の葉を食べたり、馬のように駆けたり 飛び跳ねたりする牛もいます。軽自動車に向かってくるように感じて怖い時もありますが、新芽を無我夢中でパクパク食べる光景は、かわいくて仕方がありません。
牛追いをすると、冬はのんびりな牛たちも早足に山をどんどん駆け上がっていきます。新芽を食べることは、牛にとって幸せなことなんだなぁと思います。【広報たのはた2022.4号より】

### ●牛と一緒に山作業をしています

気温が上昇し、山の木々や畑にも緑が増え、草刈りなどで汗が出てくるようになってきました。冬に必要な薪を乾燥させるために、立木を早めに伐採するのですが、チェーンソーの音がすると、遠くにいた牛たちが行進を始め近づいてきます。お目当ては生い茂っている木の葉。伐採した所に一斉に向かってきて、木の葉を無我夢中でムシャムシャと食べる光景はとても面白いです。葉が付いている枝と付いていない枝とでは、枝払いの作業の労力が全く違うので、気の葉を食べてくれる牛にはとても感謝しています。まだ山作業は未熟者なので、安全な伐採作業や樹木の名前を覚えるまでには時間と経験が必要です。【広報たのはた2022.7号より抜粋】

### ●子牛が誕生。捜索・救助活動をしました

先日、放牧していた牛が山で無事にお産をしました。子牛と母牛が一緒にいると見つけやすいのですが、今回は母牛が一足先に下山したようで、子牛が迷子になってしまいました。しばらく捜索活動をしてると、林の木陰にひっそりとたたずんでいる子牛を発見。一緒に歩いてくれると下山しやすいのですが、生まれたてで足腰が弱い子牛には、軽トラックも入って行けないほどの急斜面は、まだきついみたいでした。担ぎ上げての下山も考えたのですが、生まれたてでも体重は40～50kgほど。下山するころには腰が悲鳴を上げそうなので、今回はソリを準備して子牛の救助に向かいました。下山途中、母牛の姿が見えると元気に立ち上がり、自力で母牛の元に戻った姿はとてもたくましいものでした。【広報たのはた2022.10号より抜粋】

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） k-nakanowatari@vill.tanohata.iwate.jp
（電話番号）0194-34-2111

# 岩手県普代村　谷口　智亮

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
長崎県東彼杵町
【前　職】
JICA海外協力隊
【活動時期】
R3.9～

## 協力隊に応募したきっかけ

JICA海外協力隊としてモザンビークで養蜂の技術支援のボランティア活動をしていましたが、新型コロナの影響で緊急帰国しました。
帰国後の進路を模索していたところ、地域おこし協力隊を知り、「日本の知らない所でチャレンジしたい」という気持ちで応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ニホンミツバチの養蜂を普代村で成功させたいです。
ミツバチを通して自然環境の重要性を訴えていけるような活動をしたいです。
また、三陸ジオパーク認定ガイドと狩猟免許を取得し、自然をテーマにしたアテンドや観光開発をしていきたいです。

## 活動内容

**●ニホンミツバチの養蜂**

廃校の小学校跡地の屋上を中心に巣箱を置いています。今年は入居しなかったですが、辛抱強く頑張ります。
また、村内外で仲間を増やしミツバチの巣箱を沢山置いて三陸を中心にミツバチの保護活動をしていきたいです。

**●三陸ジオパーク認定ガイドの取得**

認定ガイド取得のために勉強中です。
三陸ジオパークの魅力を発信し、観光開発に努めていきたいです。

**●狩猟免許取得・ジビエ事業化**

シカやクマなどの野生動物を資源として活かすためにジビエの事業化に向けて準備を進めています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
各種SNSのリンクをlit.linkに載せています。
https://lit.link/hachifm38

# 宮城県角田市　吉川　一利

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３３歳
【出身地】
宮城県七ヶ浜
【転出元】
宮城県利府町
【前　職】
利府町協力隊
【活動時期】
Ｒ４.１～

## 協力隊に応募したきっかけ

前任地で梨栽培の一連の流れを取得し、今後も永続的に農業を続けていくにはどうすべきか、長らく考えていました。将来的に一次産業で生計を立てていくためには、初めからまとまった梨畑での就農準備を進めた方が効率が良いという考えに至り、その条件に当てはまる場所を求め、東北６県プラス新潟県の梨産地を対象に情報収集を進めました。その中で、角田市の梨畑がもっとも理想に近い条件が揃っていた事が一番の志望の理由になります。

## 今後の抱負・任期後の目標

梨以外の果樹栽培にも積極的にチャレンジ出来ればと考えており、現在興味のある果樹としては、桃・ぶどうの２品目、加えて角田市名産の梅栽培。また、収穫物を生かした６次産業事業にも携わる事が叶えばと思っております。 梨に限らない果樹全般に対する知識や新たな栽培技術を取得し、どの果樹においても専門的な栽培ができるようになりたいと考え、任期終了後は、梨を中心とした果樹農家として定住するとともに、地域の方々と積極的にコミュニケーションを図りながら継続的な営農活動を進められればと思います。また次世代の新規就農者のために体得した技術は全て共有し、産地を守る活動事業にも力を入れていきたいと思います。

## 活動内容

### ●耕作放棄梨園　再生計画　STAND　UP!!

耕作放棄地、されど伸びしろがある農地があるだけ運が良い。手がける梨園は、２年から１０年営農活動を行っていなかった場所、梨の木の状態は悪い。しかし設備などはまだまだ活かせる状態であったため、耕作放棄梨園（９０a）を拠点にすることに決めた。損傷が激しい梨の木（およそ１００本)全て伐根。そこに新たな梨苗木を植え、耕作放棄地をまた稼げる梨園にすることがミッションになります。

### ●北海道に学ぶ、農業経営のすすめ

広大な果樹園界隈に宿泊可能なキャンプサイトを作る活動を進めております。角田市姉妹都市交流事業として北海道栗山町に訪問させていただいた際に、選考事例として栗園（3ha）×キャンプ場経営を行っている農園を視察。「北海道での学びを角田の地で実践したい」をテーマに自信が手がける梨園に遊べる楽しめるキャンプサイトを作り、果樹園関係人口を増やし、新たな農産物販路を開拓することを目的とした活動を進めております。

### ●地域住民と地域農業の現状共有

角田市で行われている「かく大學の農ある暮らし学部」を通し、地域の方々を耕作放棄梨園に招待し、作業の現状や今後の課題や将来展望を共有しました。将来的に梨狩り体験可能な農園にしたいと考えており、様々な人が関わる、地域の方に愛される観光果樹園を目指せればと思います。

## 連絡先

# 宮城県富谷市　西嶋　陸

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
法人カーリース営業
【活動時期】
R4.8～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

今までよりも一層宮城に根差した生活をしたいと考えたことがきっかけです。この制度を知った時、営業で培った能力を活かし富谷の活性化に貢献できるのではないかと考えました。東北の人口流出が嘆かれるなかで富谷市は50年以上人口が増えていることを知り、それは富谷が魅力ある街であることの裏付けだと感じました。そこで行われる養蜂の重要性、蜂蜜の効能、加工品の幅広さに可能性を見出し、私も養蜂を通して新たな特産品を開発し、富谷を盛り上げる一助となるべく邁進したいです。

## 今後の抱負・任期後の目標

自然との共生を大切にしながら養蜂に取り組み、快適で過ごしやすい養蜂場の環境整備を目指していきます。また、自然豊かな富谷で、地域の方とコミュニケーションを取りながら養蜂や農業を通して新たな特産品の開発と、市の農業と地域を盛り上げる活動を行って行きたいです。

任期満了後もEIGHT CROWNSでの活動を継続したいと考えております。

## 活動内容

**●養蜂業務**

富谷の生はちみつ「WILD FLOWER」を採蜜するために日々ミツバチ達の世話や観察を行っております。現在は天敵であるスズメバチ対策に力を入れ、越冬を目標に養蜂業務を行っております。

**●蜜源植物の育成**

ミツバチに蜂蜜を作ってもらうには蜜源植物が欠かせません。シロツメクサ、ヒマワリ、栗、藤、アカシア等の蜜が採れますが、新たな蜜源植物を育てるために秋蒔きを行いました。富谷の気候に対応できるか、越冬できるかどうかの調査も兼ねて育てています。

**●店舗運営**

受入れ先企業の(株)EIGHT CROWNSは富谷宿観光交流ステーション「とみやど」内に店舗を構えております。養蜂以外の時間は、接客、在庫管理、オンライン商品の発送、ドリンク調理等の業務を行っております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
EIGHT CROWNS 公式Instagram
https://www.instagram.com/eightcrownsjapan

# 宮城県富谷市　菅野　文彰

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
宮城県　仙台市
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.9～ R6.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

東日本大震災にて被災し離農しましたが、「いつかは複農を」と思慮していたところ、知人の紹介から協力隊応募となりました。以前からブルーベリー栽培等に興味があり、これまでの農作物栽培・被災後の民間企業での業務経験を活かし、新たな地域で地元に根付いた活動にチャレンジしようと決断しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

農産物の収穫までには月日がかかりますが、安定した収穫量を確保するための栽培技術、独自による販売計画・6次産業化までの発展が目標です。日々の作業に追われ先々の事ですが、栽培実績を確実なものにし増産していくことが課題です。
任期後、引き続き栽培技術の確立、新たな富谷ブランドになりえる農産物の生産、地域活動に参画していきたいと思います。

## 活動内容

**●生育状況**

一般的な野菜栽培（根菜・葉茎菜類）から取り組んでいます。（最短出荷出来るもの）

**●育苗管理**

国産の需要が求められているレモン栽培の取り組み
鉢上げ作業。

春季栽培に向けての播種準備作業。
(基本情報の写真から)

**●お茶栽培**

㈱夢ファームTOMIYAで以前から栽培しているお茶の栽培管理。（霜降・降雪対策）

## 連絡先

# 山形県寒河江市　小林　勇気

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
青森県　弘前市
【転出元】
青森県　弘前市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より興味のあった農業に挑戦してみたいと思っていたところ、地域おこし協力隊という制度があることを知り応募しました。

その中でも寒河江市は作ることができる農産物の品種が多く、選択肢はたくさんあった方がよいだろうと思ったため寒河江市を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

最終目標は任期終了後に新規就農者として独立し、寒河江市での安定した営農を行う事です。その為に、任期中には営農していくうえで必要な知識や技術を身に付けることはもちろんのこと、情報発信や販売会などを行って寒河江市の農業振興の一助となればと思います。

## 活動内容

**●農業研修**

地域の農家さんの所に研修に行き、新規就農に向けて知識や技術を習得しています。野菜からフルーツまでさまざまな農産物に触れ、将来自分が就農する際の軸となる作物を検討中です。

**●販売会**

地域の農家さんからの農産物を出してもらい、様々な所で販売会を行っています。自身にとってもよい経験になり、さらにお客様には地域の農産物に触れる機会を、地域農家さんには気軽に出品できる機会を提供できればと思っています。

**●食育授業**

地域の小学生などに農業に触れる機会を提供し農業に対して興味を持ってもらうことで、将来の農業担い手が少しでも増え、地域の農業がより一層盛り上がればと思います。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://twitter.com/sagae_chi?s=11&t=HHbmmL6HZRBSHnel2CxZtg

# 山形県寒河江市　森川　宏輝

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都　江戸川区
【転出元】
宮城県　仙台市
【前　職】
広告代理店　営業職
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

フルーツが大好きで「自分で作りたい」と思うようになり、農業を始めるため研修先や就職先を探していたところ、たまたま寒河江市の求人に出会いました。仙台在住の時にさくらんぼ狩りで寒河江市に行ったことがあり、縁を感じて応募しました。
また、過去に日本一周をしたことで、知らない地域の新しい魅力に出会い、「この地域を知らない人にも知ってもらいたい」と地域振興や情報発信にも興味があったので、幅広い分野で仕事ができそうだったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は「新規就農」です。そのために、目標とする作物の研修を行い知識と技術を身につけたいです。
６次産業化やカフェの運営など、より農作物を身近に感じてもらえるようなブランド作りも行っていきたいです。
また、自身だけではなく地域の農業の認知度向上や、若手農家の交流を通じて後継者不足の解消も図っていきたいと考えているので、情報発信やコミュニティスペースの開設など、農を取り巻く環境改善にも力を入れていきたいです。

## 活動内容

**●農業研修**

寒河江市にある「農業担い手の会」という団体で、研修の受け入れをしていただいています。
若手農家さんを中心に、時期や作物ごとにさまざまな農園に伺い、さくらんぼやラ・フランス、トマト、とうもろこしなど、作業を実際に行いながら学んでいます。

**●マルシェや販売会、メニュー開発の実施**

市内で販売会を行い、地元のお客様に農作物の販売や交流をしています。山形の農産物の魅力を幅広く届けられるように東京のマルシェにも参加したほか、自身で「わらしべ農家」という野菜の交換企画を実施しました。収穫した農作物のメニュー開発や試食会にもチャレンジしています。

**●地域活動**

8月に発生した大雨により最上川が氾濫し、川沿いの園地が浸水する被害がありました。園地の復旧作業支援でゴミの撤去や泥の除去などを行いました。
また、地域の小学生や学園の子どもたちと一緒に植え付け体験や収穫体験を行うなど、農業の楽しさを伝える活動にも参加しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@sagae.agriboy
note　https://note.com/sagae_agriboy

SAGAE.AGRIBOY

# 山形県南陽市　遠藤　友紀

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３５歳
【出身地】
山形県　米沢市
【転出元】
山形県　米沢市
【前　職】
café経営
【活動時期】
Ｒ４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で飲食に携わってきました。その中で生産することに興味を持ち、新鮮で身体に優しい野菜・果物を作ってみたく、農業研修が出来る協力隊に応募いたしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年はまだ一年目ではありますが、さくらんぼ農業を一から始めたり、畑を耕して野菜を育てました。
自分で育てた野菜・果物をこの地区だけでなく県外や国外にも上手く広く発信して知ってもらいたいと思います。
また、それらを使った６次化商品の開発も進めて行きたいです。
任期後はcaféを運営しながら、自分で育てた農作物を提供して行けたら良いなと思っています。

## 活動内容

**●活動内容　さくらんぼ農業**

今年４月から引退される農家さんから引き継いで、さくらんぼ農業をスタートしました。まだ、雪が残っている時期から剪定し始め、６月の収穫まで全て初めての経験で、一日一日が学びの連続でした。同じことをやっても天候や環境によって違い、とまどいを感じることもありましたが、その大変さがあるからこそ達成感は大きかったです。

**●活動内容　野菜づくり**

一から畑を耕して様々な野菜づくりにもチャレンジしました。植えて水をやって終わりではなく、日々のそれぞれの野菜の管理の大変さ、特徴等も学ぶことが出来ました。質の高いおいしい野菜を作るために土の知識も勉強して行きたいと思いました。一生懸命育てた野菜は収穫の喜びもひとしおでした。子供と一緒にチャレンジできた畑・野菜づくりは最高の思い出となりました。次期は、どの野菜をどれくらい、どのバランスで、どういう並びで、とかプランニングもブラッシュアップして行ってみたいです。

**●活動内容　商品開発**

私の「農業研修」と、もう一つのミッションが、「6次化商品開発」です。私の師匠でもあるラ・フランス農家の方が手掛けたラ・フランスストレートジュース・リンゴジュースの反響がとても大きく、今年はラベルのデザインを担当させていただきました。これらを迎える農閑期には、市内の酒造メーカーさんのお手伝い等を通して農作物の加工を学び、さらなる６次化商品の開発につなげて行きたいと思っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
－

# 山形県南陽市　田中　のどか

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
山形県山形市
【転出元】
東京都西東京市
【前　職】
小学校教諭
【活動時期】
R4.4月～R7.3月予定
（１年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

学生の時に、スペインバルでアルバイトをしていたことがきっかけでワインに興味をもったから。また、地元である山形で働き、山形の魅力を発信したいと思ったから。

## 今後の抱負・任期後の目標

葡萄栽培や、ワイン醸造について、より深く学び、自分のオリジナルワインを作れるようになりたい。また、インスタグラムやイベント等を活用した情報発信を継続し、山形のワインの魅力を広めていきたい。

## 活動内容

**●葡萄栽培研修**

株式会社グレープリパブリックで葡萄栽培の研修を行っている。棚づくりのデラウエアの栽培を行っているが、今年から1000本以上のワイン用葡萄を、垣根仕立てで植えた。芽かき、誘引、ビニール張り、収穫等、葡萄栽培を一から学んでいる。

**●ワイン醸造研修**

株式会社グレープリパブリックで、ワイン醸造の研修も行っている。葡萄の除梗や、圧搾、ワインチェック、ボトリング等の手伝いを行い、ワイン醸造の方法を学んでいる。

**●販売研修**

県内外の酒類販売のイベントに参加し、研修先のワインの販売をおこなっている。また、インスタグラムを活用し、日々の様子を更新している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）wine_nanyo_wine

# 山形県河北町　岡部　なぎさ

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
山形県天童市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３．４～Ｒ６．３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

新型コロナウイルスにより首都圏での生活が一変し、以前より夢であった花農家を目指し、山形県へのUターンを決めました。農業をするための空き家を探し、河北町役場へ相談したことが応募のきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

基盤のない就農者が少しでも就農しやすい基盤づくり（小屋や機械、住宅など）の継続と、河北町の農業、及び花の魅力をもっと広めたいです。
任期後は切花栽培をメインとした農家になります。

## 活動内容

**●新規就農者支援**

河北町で就農したい方が相談にいらした時に、河北町での農業・気候の特色を踏まえて、どのような作物が適しているかや、どういった作物の組み合わせでの経営モデルがあるかなどお話ししながら、就農のイメージをつかんでもらったり、技術指導を行ってくれる研修生受入農家さんへのアテンドなどを行っています。

**●農業情報発信**

主にYouTubeを活用し、季節ごとにどのような農作業を行っているのかを、実際に私自身が体験し、視点カメラの映像などを使いながら紹介しています。

**●農業研修**

私自身も就農を目指していることから、実際に就農に向かって準備する上での技術習得やシーズン作業の流れ、また土地の確保や経営計画の作り方などを学びながら、どんな苦労があるのかを、新規就農希望者に説明できるようにしています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
YouTubeチャンネル「野生のなぎサウルス★」「河北町さ来てみねが」
Instagram　_unjardin

# 山形県飯豊町　武田　親祐

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
山形県　山形市
【転出元】
山形県　山形市
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R4.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

新規就農の機会を探していた中で、飯豊町での農業応援協力隊の募集を知りました。

飯豊町には何度か訪れたことがあり、田園風景と散居集落の美しさや自然の豊かさに魅せられました。

魅力を感じたこの場所で暮らし、就農を目指したいと思い応募させていただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

次世代の農業の担い手として、任期後の定住を目指し稲作を中心とした農業技術の習得、各種免許の取得、地域活動への積極的な参加を行いたいです。
また、自身の体験を通した農業や地域の情報発信を行い地域活性化に繋げていきたいです。
魅力を感じた飯豊町の暮らしを守るため、循環型農業・稲作と畜産の連携強化・耕作放棄地の活用・後継者問題等にも取り組みたいと思っています。

## 活動内容

**●稲刈**

先輩農家の方々と稲刈を行いました。
コンバインの操作だけではなく、機械の整備や実際の刈取りの際の注意点、倒れてしまった稲の刈り方など実務的な内容をご指導頂きました。
毎年の活動を通し自分のものにしていきたいと決意。

**●畑作研修**

畑2か所を利用させていただき、枝豆・黒豆・大根・キャベツ・白菜・そば、さつまいも、玉ねぎ・にんにく等多数の野菜を栽培、管理させて頂いています。
施肥・除草・病害虫管理の難しさを実感。
同時に収穫の楽しさや、畑で地域の方々と交流出来る楽しみもあります。

**●地域のでの交流**

地域の子供たちを含め、みんなでもち米の刈取りとくいがけ(刈り取った米を干す作業)を行いました。
ベテラン農家のみなさんが、鎌の使い方や刈り取った稲を稲を使ってまとめる方法などを指導。
大人にとっても子供にとってもいい思い出作りになると感じました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）
https://www.instagram.com/iide_yamagata_chiikiokoshi/
(Twitter) @iidemachitanbo

# 茨城県笠間市　髙山　健

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
28歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
千葉県柏市
【前　職】
コンサルティング
（シンクタンク）
【活動時期】
R４.６～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に笠間市の方々と出会い、農作業やイベントの手伝い、都市農村交流のワークショップなどの活動を通して、農業や地域活性化に興味を持ちました。

前職では、政府の政策運用や政策に関わる調査を担当しており、その中でプレイヤーとして地域や農業の課題解決に努めたいという思いが湧き上がってきました。ちょうどそのタイミングで、お世話になった方から、地域おこし協力隊の募集をご紹介いただき、笠間市地域おこし協力隊として活動することを決意しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、農業のプレイヤーになることを目指し、市内の農家さんとの関係を構築させていただくなど、農業技術習得に努めていきます。その上で、農業の新たな担い手創出のために、新規就農者の支援やコミュニティ農園を通じた関心層の増加に努めていきたいと考えています。

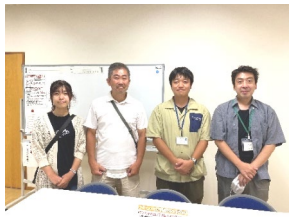
担い手不足となりつつある農業に、自分自身も含め次世代の担い手を増やし、次世代に繋がる持続可能な農業を展開していきます。

## 活動内容

**●笠間市農業公社や市内農家での農作業の研修**

「笠間の栗」をはじめとする笠間市内での農業について、笠間市農業公社や市内の農家さんから農作業の研修を受けています。農業技術習得に向けた研鑽と、市内の農家さんとの関係構築に努めています。

**●新規就農者のサポート**



「移住コンシェルジュ」の高橋隊員と共に、笠間市内への移住と就農を目指されている方々の相談を受けています。

栽培作物や作付面積などの具体的なイメージを持たれていない就農希望者が、相談できる窓口が少ないという課題を知り、この活動を開始しました。現在は、相談者のニーズをヒアリングし、意向に合う農家さんを交えて相談会を実施しています。

**●コミュニティ農園「友部コモンズ農園部」（体験型農業イベントの企画）**

農業に興味があるが、一人ではハードルが高いという方に、気軽に農業へ携われる場として、コミュニティ農園の活動をしています。「朝活農業」や「枝豆収穫＆火起こし体験の親子WS」などのイベントを、次々に企画・開催しています。農業に興味を持つ方を増やし、新たな農業の担い手が増えていくきっかけになればと考え活動しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（笠間市地域おこし協力隊FB）

（友部コモンズFB・Instagram）

# 茨城県稲敷市　丸田　聡太郎

**農業・林業**

## 基本情報

【出身地】
東京都足立区
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
学生
【活動時期】
Ｒ３.１０～Ｒ５.７

## 協力隊に応募したきっかけ

○友人の紹介で稲敷市の人口減少が著しいこと、地域おこし協力隊にて江戸崎カボチャの後継者を募集していることを知り、新規就農に興味を持った。
移住定住コンシェルジュで地域おこし協力隊のOB隊員に協力隊ついて説明を受け、相談に乗っていただいた。

## 今後の抱負・任期後の目標

○農業の知識を身につけ、江戸崎カボチャの後継者として新規就農するため研修に取り組んでいく。
２年目はある程度自力での栽培にも挑戦したい。
また農業や市、県の魅力をSNSを通し情報発信に努め人口減少問題に取り組んでいきたい。

## 活動内容

**●稲敷市の特産、江戸崎かぼちゃの栽培研修**

着任当初から、研修先としてＪＡ稲敷の南瓜部会部会員の皆さんの農場で栽培について学ばせていただいています。
江戸崎かぼちゃは、ＧＩの認定も受けた稲敷市を代表するブランド農産物だが、生産者の減少が課題の一つであり、早く生産者の仲間入りができるよう日々活動しています。
活動も２年目に入り、一から自分の手でカボチャを栽培するということも行っていますが、地域おこし協力隊の制度を利用することで、ある程度のトライ＆エラーが可能であることは、とても心強いです。
今後も先輩農家の皆さんのご指導を仰ぎながら、一人前の江戸崎南瓜農家となれるよう頑張ります。

**●地域おこし活動のＰＲ**

地域おこし協力隊の活動を、ＳＮＳを通して発信しています。また、イベントに参加して江戸崎かぼちゃの宣伝や市のパンフレット配布なども行っています。
市内の中学校からの要望で、地域おこしに関する講義なども実施しました。

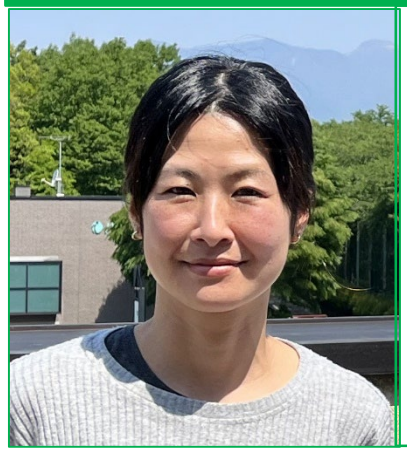
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）jinkou@city.inashiki.lg.jp
（電話番号）029-892-2000
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
作成中

# 栃木県那須塩原市　大束　絵梨

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
千葉県　市原市
【転出元】
千葉県　市原市
【前　職】
酪農業
【活動時期】
R4.5.9～R7.5.8
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

酪農の今後を考えていたときに、以前栃木県に住んでいた時に知り合った方から、乳製品関係の協力隊の応募があることを聞きました。
今までの経験を活かした活動ができると思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

那須という自然豊かで魅力あふれるこの地域をより深く知ることで、活動の幅を広げていきたいです。
酪農や農業に関わる方々と一緒に、地域が楽しくより豊かになるような取り組みをしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●酪農、農畜産物のPR活動**

地域のマルシェやイベントに参加し、生乳生産量全国２位である那須塩原市の乳製品や農業のPR活動。
田舎暮らしの豊かさや農業の魅力を発信。

**●酪農家、農家の圃場回り**

農家さんを回って一緒に作業をしながら、新たな農産物や地域の魅力を発掘する活動。
県内外の就農希望者や移住希望者に向けて農業や乳製品を中心とした情報を発信。

**●乳製品の製造技術研修**

乳製品製造の技術習得のため六次産業化を行っている牧場で研修中。
今後は製造技術を生かし、新製品の開発など那須の酪農を生かした製品を作っていく予定。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram/Facebook）　@nasushiobarachiikiokoshi

# 群馬県富岡市　市川　素

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
33歳
【出身地】
京都府　京都市
【転出元】
千葉県　木更津市
【前　職】
国際協力機構（JICA）
【活動時期】
R４.７～

## 協力隊に応募したきっかけ

私は地域おこし協力隊を通じて、日本の養蚕文化を日本や世界に伝え、新しい令和の時代にも魅力ある日本の原風景として残していきたいと考えています。

青年海外協力隊（現JICA海外協力隊）として派遣された、インドでの養蚕農家支援の経験を活かして、日本のこれまでの養蚕技術に加えて、新しい視点で養蚕に取り組み、見る人を惹きつける発信をしていきたいと考えています。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは研修を通して養蚕を学び、今後の新規就農を目指して頑張っていきたいと思います。また、活動を通じて富岡市の地域と関わり、地域を学び、地域の人々と交流していきたいと考えています。

## 活動内容

**●養蚕農家さんの下で研修**

地域の養蚕農家さんの元で研修させて頂き養蚕の基礎を学んでいます。同じ養蚕と言えど農家さんによって飼育方法や道具・設備、作業の時間帯や大事にしているポイントまで人それぞれで大変興味深いです。私も自分に合った養蚕スタイルを徐々に考えていきたいなと思います。

**●養蚕デビュー**

今年度最後となる、そして私のデビュー戦となる晩晩秋の養蚕がスタートしました。

約3万頭のお蚕さんを受け取り、せっせと桑をやったり、ストーブを付けたり消したりの温度管理をしたり、お蚕さんをのぞき込んでご機嫌を伺っております。研修で教わったことを思い出しながら試行錯誤を繰り返しています。

**●社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」**

大学生8名が富岡市を訪問し、養蚕農家での養蚕研修や若手農家との座談会等を通じて、養蚕振興やシルク商品のPRについて考えてくれました。私の研修先の農家さんにも2名の大学生が来てくれて、桑の伐採や蚕への桑やりを手伝って頂きました。これまで繋いできた歴史や伝統を必死に守ろうとする農家さんや関係者の方々がいることを県外の若い方に知ってもらうとても貴重な機会になりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook　https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi/

# 群馬県みどり市　伊藤　友樹

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
群馬県北群馬郡榛東村
【転出元】
大阪府大阪市淀川区
【前　職】
パチンコ・スロットホール社員
【活動時期】
R3.12～ R6.11
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の転勤で以前みどり市に住んだ時に、自然の豊かさや住み心地の良さに魅力を感じました。その後、自然への回帰欲から林業への転職を検討したところ、運良くみどり市が林業振興者の募集をしていた為、思い切って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

主軸の林業は引き続き研鑽に励みつつ、精油関連も事業化できるよう取り組んでいきます。また、林業のデジタル化を進める為の勉強・実践をし、地元林業家や林業振興OB・OGの方々に共有することで地域貢献をしたいと考えています。

## 活動内容

**●地元林業家の元での研修**

自伐林業を実践されている小林林業をはじめ、高性能林業機械を積極的に導入している共進林建の現場に赴き、チェーンソーの扱い方や重機操作などをご指導いただいています。

**●市有林の間伐実践**

各林業家の元で培った技術を使い、みどり市の市有林にて仲間と共に道を切り開いて間伐を実践しています。ここで感じた疑問点や不明点を後日各林業家に伺い解消したうえで、再度挑戦することで技術力向上と経験の蓄積を行っています。

**●山林資材から精油精製**

間伐の際、材として使用しない枝葉を用いて精油の精製及び関連商品の開発を行っています。現在ヒノキの葉の精油を主軸に商品開発を進めています。今後は東町の柚子などから精油が精製出来るか試行します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
[Facebook] https://www.facebook.com/woodjob.yuukiito

# 群馬県みどり市　植松　竜次

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
37歳
【出身地】
群馬県太田市
【転出元】
群馬県太田市
【前　職】
ホテル勤務
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと林業に興味があり、地域おこし協力隊を探していたところ、みどり市が林業振興で募集していたことや、かねてから子どもを自然が豊かな土地で育てたいという気持ちもあり、地元からもさほど遠くもなく生活しやすいため、みどり市を選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

自伐林業家としての知識や技術を身に付け一人立ちをすること、またみどり市に定住に向けた基盤作りを目標としております。

## 活動内容

**●林業活動**

地元の林業会社や自伐林家の方の下で勉強させていただき技術を磨いています。使う機械、重機が用途によって様々で、それが難しくもあり面白くもあります。
3年の任期の中で知識、技術を身に付け、一人前の林業家を目指して頑張っていきます。

**●果樹栽培 柿**

近所の農家の方から誘っていただき、少ない面積ですが柿の栽培をしています。春から2週間おきに消毒作業と畑の整備、秋には収穫と販売、冬は剪定と1年を通して忙しく、林業と並行してできるか模索中です。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）ryuji-ue@city.midori.gunma.jp
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[インスタグラム] https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja
[ツイッター] https://twitter.com/midori_chiiki
[フェイスブック] https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/
[ブログ]https://ameblo.jp/midori-chiiki/
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ

# 群馬県みどり市　小越　健

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
27歳
【出身地】
群馬県富岡市
【転出元】
東京都新宿区
【前　職】
鉄鋼の専門商社→飲食業
【活動時期】
R3.10～ R6.9
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、東京で飲食業を起業しており、商流を遡り生産者側の立場にも触れることで、飲食業とのシナジーがあると考えていました。どこかで農業を学びながら自分でもできる場所がないかと考えていたところ、協力隊の制度を知り、応募しました

## 今後の抱負・任期後の目標

飲食店への出荷が現在のメインなので販売ルートを確立し、消費者への直接販売を進めていきます。人脈による販売網ももちろんですが、インターネット販売などといった時代のニーズも読み取りながら進めていき、ゆくゆくは野菜のブランド化を狙っています。

## 活動内容

**●野菜の生産**

農家さんの下で栽培方法を学びながら、自身で畑を借りて、野菜類（タマネギ、ジャガイモ、キャベツ類など）を栽培しています。作った野菜は地域の施設で販売したり、東京に送ったりしています。

**●お米の生産**

地域の組合に加入し、稲作をスタートします。育苗、田植え、稲刈りなどの行事は地域の組合で共同で行うので、ベテランの方々に教わりながら手探りで進めています。

**●遊休農地の利用**

畑として使う以外にも遊休農地の効果的な利用方法はないか、様々な農業の形を見ながら日々考えています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0277-76-1937（職場）

# 群馬県みどり市　佐々木　梨乃

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
群馬県邑楽町
【転出元】
埼玉県川島町
【前　職】
販売・飲食業
【活動時期】
H31.4～ R5.3
（3年目）
（R1.10～R2.9 育休取得）

## 協力隊に応募したきっかけ

はじめは主人がみどり市で地域おこし協力隊をやりたい！と思い立ち、一緒に見学に来たことがきっかけでした。
　地域の特産物や農産物がどういったものがあるのか、道の駅や直売所を巡ってみるのが好きで、いずれは私も作ってみたいという思いがありました。そんな思いを担当の方にお話すると、奥さんも一緒にやってみたらどうかと勧めて頂き、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

食品加工・農産物加工の技術を向上させていきたいと考えています。そのために、地域の方々と関わりを持ち、その土地ならではの手法や昔からの手法を学びたいです。また、そこで学んだ技術などをSNS等で発信してみたいです。
　任期後には、主人と自家栽培の小麦を使ったパン屋を開業します。そこで、任期中に学んだことを活かした製品づくりもしていきたいです。

## 活動内容

**●小麦からつくるパン屋さん**

無肥料・無農薬で育てた小麦を、自家製粉し、その全粒粉と北海道産小麦をブレンドしたパンを販売しています。
店舗は地域の方から古民家をお借りし、自分たちでデザイン、改装して、2022年4月からオープンしました。

**●地域の特産を活かした商品作り**

自分たちの小麦だけでなく、みどり市で採れたハチミツやベリー、隣町の黒保根で採れた卵など、地場産のものを使った商品作りをしています。

**●マルシェの開催**

2021年の10月からみどり市東地域で「うさかめマルシェ」を主催しています

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）rino-sa@city.midori.gunma.jp
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[インスタグラム] https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja
[ツイッター] https://twitter.com/midori_chiiki
[フェイスブック] https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/
[ブログ]https://ameblo.jp/midori-chiiki/
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ

# 群馬県みどり市　田阪　真央

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
34歳
【出身地】
アメリカ・イリノイ州
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
外食業勤務
【活動時期】
R3.10～ R6.9
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、自然に係る仕事をしたいという思いはありましたが、何をしたいのか明確にわかりませんでした。そんな中、コロナの自宅待機で、自分について考え、都会ではなく、田舎で暮らしたいと思うようになりました。そして林業をやりたいと思うようになりましたが、経験がなかったため、一から始める良い方法はないかと、探した結果、地域おこし協力隊の存在を知り、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

木の伐倒だけでなく、重機など、様々な機械が扱えるようになりたいです。また、木を傷つけたりする、有害鳥獣の駆除などにも、力を入れたいと考えています。

## 活動内容

**●活動内容　伐倒**

林業においてもっとも基本的な活動であり、最も重要な活動です。木を切り倒すことで、初めて、その木を材木にしたり、薪にしたりすることが出来るのです。

**●活動内容　造材**

木を切り倒した後にする、作業です。切るための印をつけたり、余分な枝を切り落としたり、一定の長さに切り分けたりします。これにより、木はようやく商品として、市場に出すことができます。

**●活動内容　薪割**

木を切り倒した後にする、別の作業です。短く切り分けた木を、斧を使ったり、薪割機を使って、薪にします。これを乾燥させることで、冬を暖かく過ごせます。

## 連絡先

# 群馬県みどり市　吉澤　駿

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前　職】
配送業
【活動時期】
R4.10～ R7.9
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前から自然に囲まれた環境で仕事をしたいと考えていたところにみどり市で林業分野のおためし地域おこし協力隊の募集をしていることを知り、参加したことがきっかけで応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

限られた期間の中で精一杯勉強し、３年後には独立をすること、定住に向けた基盤作りを中心に活動していきたいと思います。

## 活動内容

**●装備品の購入**

地域おこし協力隊として活動するための初任者研修を受けました。

また、未経験の分野を一から学ぶために必要な講習や装備品の購入をしました。

**●特別講習の受講**

チェーンソーの特別講習を終え、実地での作業に加わりました。

**●ニホンジカの誘引捕獲見学**

有害鳥獣駆除の見学をしました。前日に仕掛けられた罠を見回り、罠にかかったシカの保定、とどめ刺しを実演していただきました。

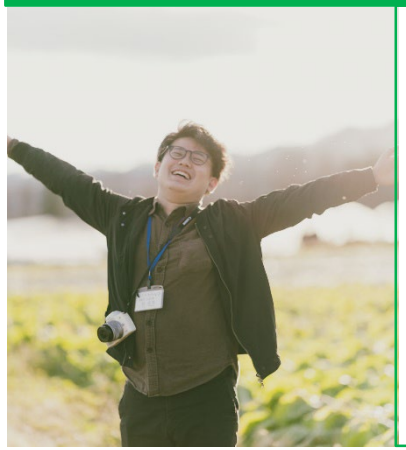
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
shun-yo@city.midori.gunma.jp
（電話番号）0277-76-0984（職場）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
[インスタグラム] https://www.instagram.com/midori_chiiki/?hl=ja
[ツイッター] https://twitter.com/midori_chiiki
[フェイスブック] https://www.facebook.com/midori.chiiki.okoshi/
[ブログ]https://ameblo.jp/midori-chiiki/
[ユーチューブ] https://www.youtube.com/channel/UCC-sTng5RtvDLb0UFA21EDQ

# 群馬県中之条町　枝　拓未

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
21歳
【出身地】
茨城県桜川市
【転出元】
茨城県桜川市
【前　職】
宇都宮大学生（現在も）
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

大学で地域づくりやまちづくりについて学んできました。フィールドワークや福島県の奥会津での二拠点生活を半年間行うなど、地域との関係を深めてきました。そんな中で、中之条町にもフィールドワークに訪れ、半年間月1回で通っている間に中之条町の風土と人柄に魅かれ地域おこし協力隊になりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、定着するための準備を進めつつ、より中之条町に貢献できる活動をしていきます。また、令和４年に地域の人達と立ち上げたNPO法人の事務局として、産業と産業を繋ぎ、より地域全体に裨益する活動を行っていきます。

## 活動内容

**●高校生農業インターンの受け入れコーディネーター**

令和4年度から、都内の高校生数名を2週間中之条町の農家さんにインターンするプログラムのコーディネーターをしました。毎日の生活はもちろん、日々のインターンシップでの困りごと、各農家での活動の目的設定など高校生が実践的により学びになるプログラム運営をしました。

**●地域おこし協力隊募集、その他関係人口の受け入れ**

地域おこし協力隊募集事業として、おためし協力隊や協力隊インターンの受け入れコーディネートを行いました。そのほか、中之条町をより多くの方に知っていただくため、地域づくりやまちづくり、観光を入り口にした講座の運営や町に興味を持っていただいた方の体験・受け入れを行っています。

**●農業振興関係業務**

上記の二つは農業をはじめとした町の担い手を確保していくための活動です。その他にも、町に新設された第6次産業化・開業支援のための調理施設の運営やオンラインでのお米の販売、農産物のマルシェなど小さいことからコツコツと始めています。今年からもう一人の協力隊との2人体制になりましたので動きを大きく加速させていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakanojotiikiokosi@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook（個人）：https://www.facebook.com/profile.php?id=100012
NAKANOJOCONNECT
インスタ（NPO法人中之条コネクト）https://www.instagram.com/nakanojoconnect/

# 埼玉県小川町　泉地　春香（せんち はるか）

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
埼玉県 ふじみ野市
【転出元】
埼玉県 ふじみ野市
【前　職】
IT不動産にて住宅相談員
【活動時期】
R4.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

有機農業が盛んな小川町で、食を中心とした地域内の循環を体感したい！活動したい！との思いで応募しました。
暮らしに必要なものはほとんどが揃う町で生まれ育ちましたが、「自分が普段食べているものがどこから来ているのか」という疑問や、生産地と消費者であるわたし自身が遠い関係にある事に、不安と違和感を覚えていました。
小川町は、地域で育った野菜が地元のスーパーや直売所で買えること、レストランで食べられること、農家さんとの距離が近いことなど、魅力を感じております。

## 今後の抱負・任期後の目標

町の人に愛され、外から来るお客さんにも楽しんでいただけるようなマルシェを開催することが私の目標なので、まず1年目は小川町について学び、沢山の人と知り合い信頼関係を築いてまいります。農業のスキル知識面もあわせて身につけ、自分で自給できるような家庭菜園もしたいと考えております。

## 活動内容

**●マルシェ出店のお手伝い**

埼玉県の有機農業者が集まるマルシェにて販売と広報を行いました。観光案内所での研修で得た町の知識や、農家さんとの関わりがあるからこそ伝えられる生の情報をお客様にお伝えしました。10月11月もいくつかのマルシェにて、出店のお手伝いをさせていただきます！

**●OGAWA'Nプロジェクト 発信**

小川町の農家さんの取り組みを認証して応援するOGAWA'N(おがわん)プロジェクト。農家さんへの負担が大きい有機JASではなく、町として認証することで、美味しくて安心安全な野菜が持続可能な形で流通できる画期的な仕組みです。応援してくれるファンを増やすため、これから発信してまいります！

**●観光案内所「むすびめ」（研修）**

OGAWA'N野菜も多く取り扱う観光案内所にて、観光案内の研修を1ヶ月しております。農家さんと知り合うことはもちろん、小川町の歴史・観光について学んだり、消費者の方がどんなものを求めているのかを目の前で見て感じる事ができる貴重な体験になっております。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
これから発信をこちらのアカウントで行ってまいります。
Instagram：https://www.instagram.com/ogawanproject/

# 埼玉県小鹿野町　金子　小百合

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
千葉県我孫子市
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
制作会社営業
【活動時期】
R４.２～

## 協力隊に応募したきっかけ

かねてより一から物を作り体験をしながら、自分の力で生活してみたいという思いがありましたが、なかなか実現できずにいました。コロナ禍で改めてこれからの生き方について考える中で、小鹿野町で養蜂人材の募集をしていることを知りました。養蜂の経験はありませんでしたがチャレンジしてみたいと強く思ったので挑戦する決断をしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

養蜂を始めてから１年未満ですが、養蜂体験を通じて学んだことが多くありました。また、養蜂を通じて知り合ったり関わりを持った人々も増えてきました。
着任中は養蜂の技術を高め、安定して蜂蜜の生産ができるようになることを目指します。
将来、養蜂の体験をしてもらったり、蜜ろうをやはちみつを使った特産物を作って販売し、ミツバチを通じて様々な人が交流できる場所を作れたらと思っています。

## 活動内容

**●養蜂**

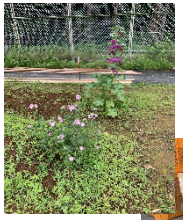
春に２群から開始し、５群を新たに追加して、合計７群のミツバチを育てて、はちみつを採りました。
その後、分蜂をして13群で冬越しをする予定です。
養蜂に関わる全ての作業を行っています。冬には巣箱を自作したり木工も手掛けています。

**●販売**

生産した蜂蜜を販売しました。
コロナでイベントも少ないこともあり、主に通信販売を利用しました。少ないながら、地域のイベントに参加して、試食していただき、はちみつを知っていただくことができました。

**●農業（蜜源植物栽培）**

蜜源植物として、花を栽培しました。
ミツバチにとって、過ごしやすい環境を作るためと、地域に合った植物を知るために、様々な草花を育てました。巣箱づくりに利用した木材を利用したり、雑草を堆肥にしたりして、資源を生かしていくことを目指しています。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ブログ：リリーと花と蜜蜂【ゼロから養蜂】
https://note.com/ryryohne

LILIOHNE

# 千葉県鋸南町　堀越　美奈

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３４歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都葛飾区
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ３．１～

## 協力隊に応募したきっかけ

鋸南町へは観光でよく来ていて移住に興味を持ちました。
前から農業に興味があり、移住相談時に地域おこし協力隊募集の案内を受け応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今までの2年で定番野菜などと、季節限定で人気の枝豆や落花生の作り方を学びました。
今後は農協出荷の品目や、施設栽培のパプリカを中心に知識を深め、道の駅と農協出荷と両立しながら、観光農園で落花生掘り体験等をして稼げる農家を目指したいです。

## 活動内容

**●アグリツー活動**

地域の非農家の皆さんと共に農業の知識を深め、情報交換をしていく。
耕作放棄地を一から耕し、無農薬栽培を学んでいます。
作業小屋としてのハウスの建設なども完全手作業で、とても勉強になっています。

**●上佐久間や長井で農地の一部を間借りし、試験栽培**

様々な地形で作付けをし、その土質に何が適しているか？どんな畝つくりなら成功するか？等、詳しく実践的な勉強をしています。
落花生、枝豆、ニンニク、アスパラガス、タマネギ、キャベツ、大根など何種類も栽培中。

**●ハウスの一部を借り、育苗から施設栽培を学ぶ。**

真冬に夏野菜であるパプリカの種子を加温機を借りて発芽させ、ポットに移植を繰り返して育苗、ハウス内に定植して収穫に至るまでの流れを勉強させてもらいました。この技術でハウス夏ネギや収穫を早めた枝豆など、様々な高収益野菜を考えられるようになりました。新規就農時の作物選定に活かせるのでいいと思いました。

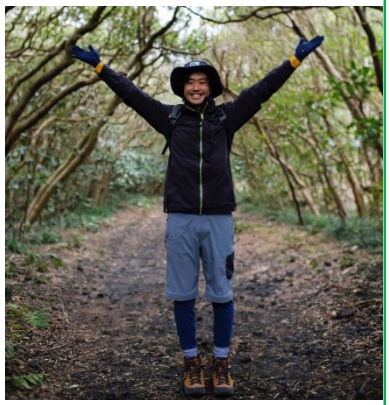
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://Instagram.com/mina_yu_chan/

# 東京都大島町　神田　遼

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
千葉県市原市
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
旅行会社
【活動時期】
R2.10～ R5.09
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

都内で会社員をしていたのですが将来的に地方、田舎暮らし、島暮らしへの憧れがあり、地域での活動がしたいと思っていたところ地域おこし協力隊という制度を知りました。その求人の中で現在の仕事の募集があり即決で応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後も伊豆大島への定住を予定しています。個人事業での開業を予定しています。2022年7月に伊豆大島ジオパーク認定ジオガイドとなったのでガイド業と現在の直売所を掛け合わせられるイベントを造成したいと考えております。卒業後はゲストハウスの立ち上げを予定しており任期中に着手して開業を目指しております。

## 活動内容

### ●店舗のSNS運用

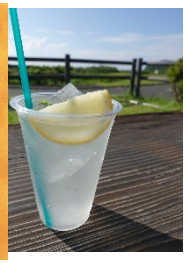
農産物直売所「ぶらっとハウス」に勤めているので日々の店舗での様子やイベント情報などをSNSを通じて宣伝、発信しています。

### ●イベントの企画運営

店舗での仕事の他にも定期的にイベントの企画運営をしています。店舗としてのマルシェ開催に加えて少し小規模な収穫体験、野鳥観察会など野菜の販売以外での広がりを目指して日々活動しています。

### ●特産品を使った商品開発

季節ごとの特産品を使ったジェラートの製造をメインに商品開発をしています。それに加えてドリンクなどの商品も開発しています。商品を充実することにより長い時間滞在できるような店舗の仕組みも考えています。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ガイドHP QRコード）(Twitter:@2knd0) (Instagram:@2ryknd0)

# 東京都利島村　上田　哲郎

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
４２歳
【出身地】
東京都利島村
【転出元】
東京都
【前　職】
飲食業
【活動時期】
Ｒ３.４～Ｒ６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、利島出身で中学卒業してからは都心で生活、仕事をしていたが、二子が小学校入学するタイミングで、地元に帰り、家業を継ぎながら椿関係の仕事をやってみたいと考えて応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

椿の苗木づくりや椿山の管理、野菜づくりなどの成果をよりあげられるよう頑張っていきたいと考えています。

## 活動内容

**●椿山の管理**

椿油の原料になる椿実を効率よく拾える環境づくりを1年かけて行っています。隊員になって初めて経験しました。春から夏にかけての草刈は重労働で、秋から冬の実拾いは根気のいる作業です。段々畑の形状となっているため、より効率的にできないか試行錯誤しながら管理を行っています。

**●野菜の生産**

ハウスでの野菜づくりも初めのことだったので、手間がかかり大変でした。生産物は小松菜などの葉物を中心に色々と挑戦しました。収穫できたものを農協の購買店舗で販売したり、総菜などの加工品などに活用しています。

**●椿の苗木づくり**

椿実の優良木の枝を使用し、挿木による苗木づくりを行っています。育苗ポッドの用土も複数使用することで育成に違いがないか定点観測を続けています。将来的には、年間3,000本程度の苗木をコンスタントに出荷できることを目指しています。

## 連絡先

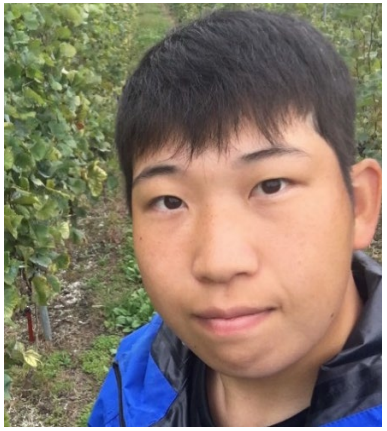
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）oginoryou@toshimamura.org
（電話番号）04992-9-0046（利島村役場 産業観光課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
なし

# 新潟県妙高市　塚田　歓太郎

**農業・林業**

## 基本情報



【年齢】
２５歳
【出身地】
新潟県上越市
【転出地】
三重県津市
【前職】
学生
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

・気楽に飲める美味しいワインをブドウ栽培から取組み、醸造まで行いたい。
・大学時代、細菌学を専門に学んできたが、その時の経験を活かし、栽培技術を習得したい。

## 今後の抱負・任期後の目標

・ブドウ栽培、ワイン醸造、経営方法の基礎を学び、知識や経験を身につけたい。
・ブドウ栽培やワイン醸造など活動状況をＳＮＳで発信し、認知度を高めたい。
・若者が気楽に国産ワインを楽しめるような環境づくりを行いたい。
・任期後も、農業法人で仕事を続けていきたい。

## 活動内容

**●加工用ぶどうの栽培**

妙高市において平成２８年から栽培を行っている加工用ぶどうの収量安定化と果実の品質向上を目指し、令和３年７月に着任。県普及指導センター様や岩の原葡萄園様の支援を受けながら、栽培技術を習得しつつ、令和４年に初の妙高市産ワイン「フルコン・ドゥ・ネージュ」を販売。今後は、ぶどう栽培のみならずワイン醸造に関する知識の習得を経て、産地の特徴を活かしたぶどう・ワイン造りを目指します。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）gf2-ebzu@joetsu.ne.jp
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
facebook: https://ja-jp.facebook.com/tiikinokosi
Instagram:
https://www.instagram.com/myoko_chiikiokoshi/?utm_medium=copy_link

# 新潟県上越市　荘司　勇太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
北海道上川郡美瑛町
【転出元】
東京都青梅市
【前　職】
林業、山林土木現場作業員
【活動時期】
R4.5～ R7.5
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

出身の美瑛町が畑作が盛んな地域で、子どものころから農家の手伝いをしていたので農作業や体を使う仕事が好きでした。

東京に出た後に山登りを始めましたが、次第に山や自然豊かなところで暮らしたいと思い始めました。

その後、東京の奥多摩での林業の仕事を通して自然の中で働く気持ちよさに触れ、地方に移住することを本格的に考え始めました。

数年前に東京で開かれた「新・農業人フェア」で柿崎の方々と知り合いになり、2度ほど柿崎を訪れました。そこで東横山の景色のすばらしさに触れ、住んでみたいと思いました。また、移住者を含む若手の農家で構成される農業団体「柿崎を食べる会」をはじめ、柿崎の農家の方々が生き生きと農業をする姿を見て、この場所で農業がしたいと思いました。

いろいろと相談するうちに協力隊の制度を知り、応募してみようと思いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まず 第一に稲作技術を習得し、一人前の農家となることを目指したいと思います。

また、林業の経験を活かし、集落の山林の維持管理にも貢献していきたいと思います。

東横山の棚田はとても素晴らしいものですが、休耕地として雑草が生い茂っている田んぼも多くあります。自分が農家になることで、今ある棚田を維持していきたいと思っています。

そして、現在は放棄されている田んぼも別の作物に転用するなどして再び耕地に戻せるよう努力していきたいと思います。

## 活動内容

### ●稲作技術習得

「柿崎を食べる会」の方の指導のもとで、稲作技術の習得に取り組んでいます。今年は水田の田起こし、代掻きや除草作業からコンバインでの収穫などを経験しました。

また、復田した休耕地で蕎麦の栽培を行いました。

### ●大出口泉水周辺の環境保全

東横山には環境省選定の「平成の名水百選」に選ばれた大出口泉水があります。

日々多くの人が名水を汲むために訪れる場所であり、日本海も一望できる景勝地なので、訪れた人が気持ちよく過ごせるように草刈りをするなど保全に努めています。

また、以前よりその水を使いニジマスの養殖がおこなわれていた場所でもあり、現在はその設備を借りてイワナの養殖に取り組んでいます。

### ●地域の特産品づくり

東横山は尾神岳から風が吹き下ろすため、昔から美味しい干し柿ができるといわれています。今年は「柿崎を食べる会」が毎年行っている干し柿づくりを手伝わせていただきました。

また、東横山は昼夜の寒暖差が大きく、おいしい野菜も取れるところです。今年は自分でも畑を借りて大豆やニンジン、ジャガイモなどを栽培しました。

新たな地域の特産品となるような野菜を作れるよう、日々研究を重ねています。

### ●獣害対策・狩猟

上越市の「捕獲サポート隊員」として、集落に設置されたイノシシの箱罠の見回り業務を行っています。9月には罠猟免許を取得したので、今年の冬は自分でも罠を設置してみたいと思っています。

農作物を荒らすイノシシなどの獣も、資源として有効活用していけたらと考えています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS】
Instaglam「住もっさ上越」(https://www.instagram.com/sumossajoetsu/)
Facebook 「上越市地域おこし協力隊」
(https://www.facebook.com/joetsu.kyoryokutai)

# 石川県金沢市　高野　智司

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
埼玉県さいたま市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
農家
【活動時期】
R2.4～ R5.3

## 協力隊に応募したきっかけ

・協力隊の仕事を紹介していただいた行政の方、現地を案内しながら、説明していただいた地域の方などに好感を持ち、この人たちと仕事をしたいと思ったから。
・地域の雰囲気が気に入ったが、地域には働き口がないなかで、３年間月給を得ながら、活動できる点が魅力的だった。

## 今後の抱負・任期後の目標

・内川地区の振興を支えてきた竹・たけのこ産業の担い手として、たけのこ生産、たけのこ料理、竹加工を継承すること。
・伐採適期を迎えながら、採算がとれないため、伐採されずに置かれている造林地に対して、小規模伐採をすることで、山の更新につなげながら、山の木を少しずつお金に変えていく、自伐型林業に取り組んでいくこと。

## 活動内容

**●たけのこご飯事業**

金沢の春の風物詩だった、内川地区のたけのこ料理店がコロナの影響などにより姿を消した。わたしは地域伝統の味覚を引き継ぐために、内川地域産のお米とたけのこで、たけのこご飯を製造し、販売している。

**●自伐型林業**

自伐型林業に不可欠な、山への道付けの講習や安全な伐倒の実習などに参加し、技術を学んできた。
講師を招き、地域のスギ山へ道付けを行い、その道を利用して、実際に木を切り出して、丸太市場へ出荷した。

**●獣害対策**

内川地区の田畑へ甚大な獣害をもたらしている、サル、イノシシの捕獲に取り組んでいる。
とくに、サルの大型檻を設置、管理し、サルの一斉捕獲を目指して、試行錯誤している。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）uchikawa.reactivating@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（内川四季）https://medial-uchikawa.com/

# 山梨県韮崎市　船津　祐平

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
岡山県岡山市
【前　職】
太陽電池メーカー
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

ワイン造りの魅力と甲州種で作った白ワインの美味しさに感動し、山梨に移住する事を決めました。
韮崎市は日本でも数少ないワイン特区のひとつであり、韮崎産のワインを全国に発信したいという思いから地域おこし協力隊に応募しました。
募集情報は主にインターネットで収集。

## 今後の抱負・任期後の目標

・ワイナリーを起業する
・ワインを通して地域活性となる活動をする
・耕作放棄地を利用して醸造用ぶどうを栽培する
・空き家や使用されていない施設等をワイナリーとして検討する

## 活動内容

**●醸造用ぶどう栽培**

市内の耕作放棄地を賃借して、醸造用ぶどうの栽培と苗植えを実施。今後も耕作放棄地を利用して、新規圃場の整備を進める。

**●醸造研修**

醸造技術習得のため、市内のワイナリーにて研修を受講。同時に自身で栽培したブドウを使い、研修先でワインを醸造。

**●ワイン関連のイベント**

商工会と連動して、韮崎産ワインのイベントを市内のキャンプ場で開催。多くのお客様が県内外から参加されて、韮崎産ワインの良いプロモーション活動となった。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（韮崎市HP）
https://www.city.nirasaki.lg.jp/special/cooperationcorps/report.html

# 山梨県韮崎市　髙橋　天貴

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
25歳
【出身地】
宮城県遠田郡美里町
【転出元】
山梨県甲斐市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.6～ R7.5
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

もともと自然やアウトドアが好きで、自然豊かな韮崎市をもっと他の人に知ってもらいたい、米の素晴らしさ、美味しさをもっと知ってもらいたいとの思いが強く、韮崎市への移住を考えていました。移住相談員の方へ相談する中で、地域おこし協力隊の活動を紹介されたのがきっかけで応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

減りつつある農林48号（米の品種）の魅力、美味しさを広め地域活性化を図りたい。また、鳥獣被害の現状を知ってもらい、その上でジビエに対する関心を持ってもらえるような活動をしていきたい。現状鳥獣を処分する際は埋設してしまうことがほとんどであるためジビエカー、ジビエサテライトユニットを導入し、多くの人々に比較的安く提供出来るような仕組みを考えていきたい。

## 活動内容

**●農業生産活動**

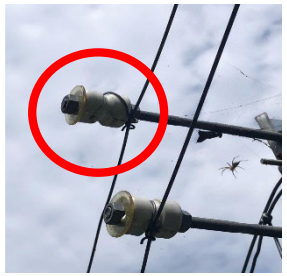
活動を始めたばかりのため、現在は市内で米作りや鳥獣害対策等を手掛ける企業の仕事を主にお手伝いしています。田植え作業、除草作業、田んぼに放す合鴨の世話、稲刈り等の農業生産活動を活発に行っています。

**●広域電気柵の簡易点検**

電気柵自体は比較的新しいものですが、所々で伸びてきた竹や木が触れていたり、垂れ下がった木々が電気柵に触れているので、漏電している可能性が何ヵ所か見受けられました。獣を外へ出さないためにも今後改善していく必要があります。

**●漏電に伴う電気柵不具合の改善**

地域から依頼があり、電気柵周りを見回っていくと、画像のように、電線と支柱を干渉させないようにする碍子部分から電線が外れて、これにより金属の支柱と接触し、漏電していることがわかりました。元に戻し再度電流を流すと、電線部分が正常6000ボルト以上流れるようになりました。



## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
いいじゃん！韮崎市！
https://www.city.nirasaki.lg.jp/special/index.html

# 山梨県上野原市　吉野　艶子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
神奈川県湯河原市
【転出元】
神奈川県湯河原市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ１.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

キヌアという国内でも例のない穀物の特産化に向けた取り組みを行うとのことで、新しい挑戦に興味を抱いたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

キヌアの料理方法を広めることで、上野原市産キヌアを購入するきっかけ作りを行いながら、キヌアを使った商品開発や安定的な生産に繋がるように、栽培方法について試行錯誤を行いたいです。

## 活動内容

**●キヌア食堂の実施**

上野原市の西原地区にある民間の宿泊施設「西原ife体験宿したで」さんと協力しながら、月に１回の頻度で、キヌアを使った料理をふるまい、語らうことができる「キヌア食堂」を開催しています。

**●キヌアの栽培**

市内に畑を借りて、キヌアの栽培に取り組んでいます。また、市内でキヌアの生産を行っている農業者の方々と情報交換を行いながら、安定した収穫量の確保に向け試行錯誤をしています。

**●キヌア栽培方法の普及活動**

上野原市内の圃場で自分で栽培した方法について、これからキヌアを作ってみたいという方へ向けて、栽培方法について情報提供を行っています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】上野原市産業振興課農村地域づくり担当
（メールアドレス）nosonchiiki@city.uenohara.lg.jp
（電話番号）0554-62-3119

# 山梨県山中湖村　佐藤　仁孝

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
63歳
【出身地】
東京都葛飾区
【転出元】
山梨県南都留郡山中湖村
【前　職】
企業の契約社員
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

出身が山梨県であり、仕事の関連も山梨県との関わりのある案件が多く、山中湖村においても農泊推進対策の事業にも携わっている。そのような関連から、山中湖村を訪れる機会が度々あり、村の持つ様々な魅力や今後の課題についても知ることができた。
この度の地域おこし協力隊を機会に、自身の得意分野を生かした仕事（新規事業の構築）に従事し、魅力ある山中湖に移住することも念頭に応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

花き栽培に興味を持たれた方々と協議・協力をし合いながら、花き産業の担い手数とそれに伴う生産数を増やしていき、山中湖の主たる産業、安定した産業になるような振興計画を進めて行きたい。
任期後は山中湖村でこれから花き栽培を始めたい方、県外から山中湖村に移住して花き栽培を始めたい方々を募り、栽培の指導や事業の計画を支援するコンサルティング業務を行いたい。

## 活動内容

**●花き栽培を中心とした観光と産業の発展**

標高が高い山中湖村ならではの気候や富士山や山中湖のブランドを生かした花きを栽培し、山中湖の玄関口である「花の都公園」の施設を中心にリピーター客が続出する話題性と魅力のある観光地づくり、また山中湖村の新たな特産品として利益性が高い花き産業の振興を村民とともに目指して行く。

〈8月に花の都公園内で開催したフラワーアウトフェスティバル〉

## 連絡先

# 山梨県富士河口湖町　植野　景吾

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都三鷹市
【前　職】
株式会社　伊東屋
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

物質的な豊かさに抱いていた憧れが、コロナ禍で価値観が変わり、自然に近い農的な生活を強く求めるようになった。

そこで協力隊の募集を見かけ、農業未経験から新規就農にむけ、給料を得つつ農業を学びながら生活が可能な点に惹かれた。

また、自分と同様に農的な生活に興味を抱いている方たちに向けて体験した魅力を発信し、農業に携わる仲間を少しでも増やしていきたいと考えたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

1年目は支援団体の農家の方々の下で農的な生活に慣れ、時期ごとの流れや基礎的な技術を学びつつ力をつけてきた。

2年目からは引き続き農家さんの下でより実践的な研修を続け、プラスで小規模の畑を借りて数種類の作物を作ってみる予定。

今後は、独立後に拠点にしたい場所や、自分がメインで作りたい作物などを少しづつ考えていき、任期が終わった際にスムーズに独立でき、自分の農業で生活が送れ、魅力を十分に伝えられるような計画を練っていきたい。

## 活動内容

### ●研修について

研修先の団体「河口湖野菜倶楽部」に所属する３名の農家の下を、1名につき１週間研修を行い次の農家へ移る形のサイクルで回る研修となった。
４月、５月は主にマルチ張り、種まき、苗植えを行い、６月にはレタス等の収穫も行った。最盛期となる夏場には草刈りや真夜中からとうもろこしの収穫も行った。

### ●地域活動について

作物への見識を広げる傍ら、地域貢献活動の一環として研修先のそばの小学５年生と一緒に田植えを行った。自らの存在を知ってもらいながら、子供たちに農業に少しでも興味を持ってもらえるよう今後も活動を行っていただきたい。

### ●事業の取り組みについて

研修先の農家さんが行っている「FCふじざくら山梨」とのコラボ事業に参加させていただいた。地域の活性化を一つの目的とする双方にとってプラスに働いている事業であるため、独立後に向けてこういった事業を行えるよう繋がりや手腕を学んでいっていただきたいと考える。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/fujikawaguchiko

# 長野県中野市　榎本　郁美

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
東京都北区
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
学校給食調理員
【活動時期】
R２.４～R５.３
(3年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

登山が趣味で農業にも興味があり、自然の近くで暮らす生活に憧れを持っていた。ご縁があり中野市のぼたんこしょう農家さんと出会い、2週間ほど住み込みでお手伝いをした。その際に、ぼたんこしょう保存会の高齢化や担い手不足の現状を知り、力になれたらと協力隊になることを決めた。

## 今後の抱負・任期後の目標

ぼたんこしょう保存会の活動にとても魅力を感じているので、退任後も中野市に住み、引き続き自分が続けられる形での保存方法を考える。そのためにぼたんこしょう保存会としてではなく、自分のブランド（山の台所）でぼたんこしょうや中野市で出会った食・文化・人の魅力を伝える。退任までに自身のブランド「山の台所」を起業予定。ぼたんこしょうで生計の糧となるような仕組みや仕事を考えて実践していきたい。

## 活動内容

**●ぼたんこしょう保存会の活動、PR活動**

・ぼたんこしょうの栽培作業
・ぼたんこしょう加工品製造作業
・料理教室開催、SNSで保存会の活動内容発信
・ネット販売
・新商品開発
・マルシェ出店　等

**●山の台所活動**

・月１で地域のお母さんと一緒に中野市のふるさとの味を詰め合わせたお弁当を販売
・チャレンジショップで2週間限定ぼたんこしょう食堂をオープン
・インスタグラムでレシピの発信

**●SNSで活動内容発信、地域活動**

・地域おこし協力隊のインスタグラムで活動の内容や中野市の食レシピを発信
・地元の小学生と一緒にぼたんこしょうの植え付けや田植え作業等を行う
・地域の繋がりの輪を広げるきっかけとして「ぽんぽこTALK」トークイベントを開催

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
電話番号　中野市経済部農業振興課　0269-22-2111
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
中野市地域おこし協力隊インスタグラム　@shinshu_nakano_kyouryokutai
山の台所インスタグラム　@yamanodaidokoro

# 長野県中野市　山下　和貴

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
51歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3年4月～

## 協力隊に応募したきっかけ

長野県への移住、新規就農を目指していたところ、中野市役所の方に協力隊制度を利用した新規就農（果樹農家）を推奨されたため。

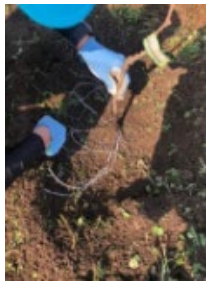
## 今後の抱負・任期後の目標

今後は農業、栽培技術の習得、新規就農者の中心として技術の支援や農業者コミュニティーづくりに励みたい。また、市のＰＲを目的に都市部と農村の交流を図れるように、交流イベントに参加したい。
任期後は中野市内での定住を目指し、農業を生業に自営業として独立したい。

## 活動内容

**●苗木の植え付け**

ぶどう苗木の植え付けを市内先輩農家の方に技術指導いただきました。



**●ぶどうの房切り**

ぶどう栽培における房切り、摘粒について市内先輩農家の元で体験させていただきました。

**●棚の施工作業**

果樹棚の施工を市内先輩農家の元で体験させていただきました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　yamashita-kazutaka@city.nakano.nagano.jp
電話番号　中野市経済部農業振興課　0269-22-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
フェイスブック　https://www.facebook.com/nakanokyouryojutai

# 長野県箕輪町　山川　正信

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
神奈川県鎌倉市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
農業・農家レストラン・農産加工販売
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

1996年　山形県にて新規就農し農業、農家レストラン、農産加工を行っていましたが2018年、脳卒中で左半身麻痺となりすべての事業を廃業。実家に戻りリハビリが一段落した時、やはり農ある暮らしがしたいということで、身体障害者ではありますが自分のキャリアが活かせるだろうということで協力隊に応募しました。
希望地は雪のほとんど降らない東日本の山間部。ということで上伊那地方となりました。

## 今後の抱負・任期後の目標

スモール農業・スモール六次産業化の実践
・トマトを中心にした野菜づくり
・農と食をテーマとした交流農園、体験農園
・新規就農者の育成

## 活動内容

**●トマトプロジェクト**

本年は31種類のトマトを栽培。この地域の気候特性と栽培特性を知ること、トマトにおける加工品の試作など地域における六次産業化の可能性の調査。

<私の農業における資格と経験>
・信州六次産業化プランナー（農山漁村発イノベーションプランナー）
・食の六次産業化プロデューサーレベル3
・山形県大江町認定農業者（廃業まで）
・平成23年度六次産業化法総合事業化計画認定事業者
・山形県農業研修生受け入れ農家（廃業まで）

**●花プロジェクト**

箕輪町ながた自然公園キャンプ場入り口とサイクルテラス・バンプトラック前面における花壇の設置と花の植栽。花は播種、育苗から行い、夏秋の花、冬春の花と年2回植栽し、管理しています。

**●農業関係セミナーの実施**

・有機農業入門セミナー
・六次産業化セミナー
・新規就農者の実践農業セミナー

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
自己紹介HP　http://yukainayasaimura.com/
活動の様子　インスタ

# 長野県下條村　瀧井　悠爾

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
29歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
東京都　世田谷区
【前　職】
飲食業
【活動時期】
R2.4～ R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

結婚をきっかけに、子育てなど自分の人生設計を見つめなおし田舎移住や職業としての農業に興味を持った。
見知らぬ土地で、経験ゼロで就農するよりも協力隊として地域になじみながら、就農の準備をしようと考えた。
長野に限らず方々で候補地を探したが、学生時代からの友人が近隣ですでに協力隊として活動していることを知り、当地を選んだ。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期満了と同時に子供が生まれ、これまでよりさらに地域との結びつきが強くなるので、しっかりと農業で地に足を付けられるような準備をしたい。
また、都市部から移住して農家として楽しく生活している様子を発信して、潜在的に田舎暮らしに興味を持っている人との交流のきっかけになっていきたい。

## 活動内容

**●都市と地方の持続可能な地域づくりプロジェクト**

NPO法人「南信州山都共同社中」によるプロジェクトへの従事。プロジェクト内の事務を担当する中で、プロジェクト参加農家から農業経営への知見を得る。
実際に試験圃場で栽培の研修を受ける。

**●梨栽培**

村内で栽培をやめる予定だった梨園を譲り受け、任期後に向けて梨の栽培を行う。
SNSで梨栽培の様子や田舎暮らしの様子を発信している。

**●南信州LIVES**

飯田下伊那14市町村の協力隊で集まり広報誌の発行。それぞれの活動の様子や、地域内のイベント季節毎の風習などを発信している。
また、他地域の協力隊の様子を聞ける情報交換の場としても機能している。

## 連絡先

# 長野県豊丘村　布川　俊輔

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
45歳
【出身地】
神奈川県厚木市
【転出元】
神奈川県厚木市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R４．４　～　R6．３
（1 年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

独立して経営者として事業を行いたいと考え、幾つかの職業を調べる中で、未知の領域ではありますが、栽培技術や環境予測、土壌管理など多岐にわたる深い知識と経験が必要な農業という職業に興味を惹かれるようになりました。ただ、知識も経験もない状態だったため、それらのサポートがしっかりと受けられる南信州地域でのプログラムがある事を就農フェアで教えて頂き応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

きゅうりの研修がひと段落しつつあり、市田柿の加工研修がこれから始まる為、また新しい技術や知識をしっかりと習得したい。活動2年目では実際の就農を常に意識しながら1年目に学んだことを活かせるよう活動する。

任期終了後は活動地域である豊丘村で農地を借りさせて頂き、地域に貢献できるよう農業も含めて努力したい。

## 活動内容

**●活動内容　農業研修での様子**

農業を本格的に取り組ませて頂いたのは初めて。とても奥が深く、指導マネージャーの長年の経験と知識、知恵を一つでも多く習得出来るよう意識して日々活動しております。

この地域で直ぐ収入に繋がる、夏秋きゅうりの栽培と、市田柿の栽培・加工を学んでおります。夏の暑さなど体力的に大変な時期もありますが、体も大切な資本と考え体調管理にも気を付けております。

一年先輩の研修生、自分と同じ５期生、同じ農業を目指す仲間との繋がりからも学ぶことがたくさんあります。

また、JAの方々が親身になって相談に乗って頂き、多くの情報を得させていただきながら農業を学んでおります。行政からも住宅、生活面でのサポートをいただき令和６年春の就農に向けて頑張っております。

写真上は、この春、畑を起こしている様子。ぎこちなさが見えます。（笑）下は、南信州特産の市田柿を吊るしております。柿の時期は忙しいですが、渋柿が美味しくなる過程を楽しみながら学んでおります。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）teiju@vill.nagano-toyooka.lg.jp
（電話番号）0265-34-2520

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://shuunou.minamishinshuu.net/

# 長野県大桑村　奥野　宏

**農業・林業**

## 基本情報

©Masahiro Ikeda

【年　齢】
３８歳
【出身地】
岐阜県本巣郡北方町
【転出元】
長野県大桑村
【前　職】
陶芸家
【活動時期】
Ｒ２.５～

## 協力隊に応募したきっかけ

４年前に娘が産まれたことと、コロナパンデミックをきっかけに、都市部での生活より地方の生活の方が幼少期の子供にとっての発育に良いのではないかと思い、今までの手仕事を活かした地方での暮らしを始めるきっかけとして地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

村内の築110年の古民家を購入しました。古民家の再生技術を地元大工さんに指導いただきながら、村の古材を活用して改修しています。来年度には少しづつ不定期に開放して土器、陶器、本の展示会等の文化的な催し、寺子屋的な学びの機会となるような寄合を行っていける場所にしたいです。古民家で軽くお茶等出したいので飲食の許可等独立に向けての手続き準備も進めていきたいです。

## 活動内容

**●改修中古民家ギャラリースペースでの展示会風景**

「里ラボ」というプロジェクトの中で改装中の古民家ギャラリーを解放しました。
近隣の町村で活動されている、照明器具を制作した作家の方、古道具を創造的再利用している作家の方達と展示会を行いました。

©Masahiro Ikeda

**●古民家再生技術を地元大工さんに指導して頂いているところ**

土台からの床の作り方を指導してもらっています。
古民家に眠っていた古材や村内の解体された古民家から出された木材を活用しながら改修しています。

©奥野宏

**●地元木工職人さんに技術指導をうけているところ**

村内の古民家から廃棄された什器、家具等を技術指導いただき修復しました。

©奥野宏

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号）0264-55-3080　職場代表番号

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram@okuno_hiroshi

# 長野県大桑村　金井　元

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
東京都
【転出元】
東京都
【前　職】
自営業
【活動時期】
R3.7～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前祖父母が近隣町村で暮らしており、子供の頃幾度も訪れた。十数年振りに木曽郡を訪れると以前より高齢化が進み活力の低下を感じた。また数年間2拠点生活を送り、有機農業の勉強を始め、就農を希望するようになった。その様な中、偶然農業担当の募集を知りすぐに応募した。人が減る未来を地域社会が生き抜くには、基礎体力が有りリソースが豊富な内のイノベーションが必要不可欠だと思う。イノベーションの面で自分自身の経験を地域貢献に活かせると感じた。

## 今後の抱負・任期後の目標

オーガニック米を村の特産に育てたい。また「大桑ブランド」を確立し広めていきたい。当初任期中に有機稲作の作付け面積を増やし、退任と同時に村内で就農、空き農家の購入し定住を目標としていた。しかし国の就農支援の枠組みの問題や任期中は小面積の試験栽培に従事するなど状況の変化もあった。販売が出来ないのでブランド化は難しくなった。今後も有機稲作技術の研鑽に努めたい。また村内農家にも技術を広めたいと思う。他地域に先駆け有機米を広められれば今後の発展が期待できると思う。

## 活動内容

### ●有機稲作試験栽培

有機栽培は慣行栽培以上に土壌、気候、水温、標高、地域雑草の種類など理解する必要がある。地域に合った栽培方法が確立できれば村内全域で共有することが可能になると思い試験栽培を開始した。種まきから、有機JAS規格に合わせた技術確立に努めている。

### ●有機稲作の技術研究

村内には無農薬稲作に取り組む農家が無いため県内外の民間研究所で研修を受けてきた。実際の技術、科学的裏付けなど学んだ。今後この技術をどうやって村民に還元するかが課題。また地元農家で慣行稲を一緒に作り通常の稲作も学んでいる。

### ●農産物の特産化

村内で米が一番作付面積が多い。一次産業は差別化が難しく特に米は品種や産地の価格差が少ない。有機米なら高単価化出来る。また十数年前に植えられた柿の木が放置されつつある。これを活かし柿の特産化を考えている。人口が少ないので今あるリソースを生かさなくては持続できないと感じている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
　もう一人の農業担当の隊員がインスタを立ち上げてくれたので今後一緒に運営していく予定。

# 長野県大桑村　木又　邑熙子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
長野県　大桑村
【前　職】
呉服企業勤務
【活動時期】
R４.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

今後農業に携わっていきたいと思い、募集を調べていたところ地域おこし協力隊による農業の募集を見つけました。農業を通して地域おこしへも繋がるのであれば、より大きな可能性を持って取り組んでいけると思ったことが協力隊に応募したきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業を通して地域の方々との連携を大切にしながら、大桑村といえばこれ！と言えるような特産品を開発し、地域おこしに繋げていきたいです。
退任後は新規独立就農を目指しています。農業については、環境負荷に配慮した持続可能な農業を担う世代として環境にも人にもやさしいものづくりができる生産者になりたいです。そんな農家となり、地域の振興に貢献できればと思っています。

## 活動内容

**●農作物の栽培**

畑を借りて主に多品目の野菜の試験栽培をしています。この地に合った栽培管理方法など学ぶことがたくさんあります。
また、花き栽培にも携わらせて頂いています。

**●特産品開発**

まだ特産と呼べるものがない大桑村ですが、栽培を通しながら加工品などを考えたり、地域の方々と協力しながら以前、養蚕が盛んだったこの地ならではの「桑」に着目して商品を試作してみたりと、日々特産品の開発に努めています。

**●地域との繋がり･連携**

村の農家さんのところへお手伝いに行かせて頂いていて、野菜をはじめ花きや稲作なども学んでいます。特産品開発では中学校の総合学習で一緒に考えたり、今後は保育園にある農園にも携わらせて頂く予定です。地域全体での繋がりが農業振興への第一歩となっています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram）https://instagram.com/okuwa.kyoryokutai.nogyo

# 長野県信濃町　坂井　孝次

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
愛知県名古屋市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R4.8～ R7.8
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

29歳の時にビーチクリーン活動や、保護猫ボランティア活動、児童養護施設のボランティア活動などをしていた中で自身から生まれる活動をしてみたいと考えていた時に、地方創生活動をしている方と出会い、調べていく中でさまざまなやり方で地方創生に取り組んでいる人達の発信を見て、とても惹かれるものがあり、そして地方移住も考えていた中で自分の気持ちとマッチしているのが地域おこし協力隊だと思い応募するに至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は食、農への理解を深くし、活動地域の農林をより良い影響で広げていけるような活動をしていきたいです。そのために今後自身の畑を持ったり、０からの体験を重ねていきたと考えています。
任期後の目標はまだ明確なものは決めていません。ですがその目標を明確に持ち実行できるように任期をより充実したものにしていきたいと考えています。

## 活動内容

**●伝統野菜イベント**

伝統野菜のからごしょうを使用した“こしょう漬け”の料理イベントを開催。

**●大根の作付け**

料理教室の先生の畑を一部借りて、伝統野菜イベントに使用する大根を作付け。

**●ネギの試験栽培**

地元農家の水田の一部を転作利用し、ネギを栽培。
地域の商業施設などへ提供を実施。

## 連絡先

【産業観光課農林畜産係】
０２６－２５５－３１１３
nourin@town.shinano.lg.jp

# 岐阜県下呂市　平田　肇

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
４８歳
【出身地】
大阪府貝塚市
【転出元】
大阪府貝塚市
【前　職】
調理人
【活動時期】
Ｒ２．１０～Ｒ５．９
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

農業と飲食店を一体化していきたいという思いがあって、下呂市馬瀬地域の募集を見て、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

令和4年10月から「下呂市ふるさと納税」に出品し、自らも農産物を栽培し、かつ馬瀬地域の方々が栽培した農産物の販売拡大に頑張っています。
任期後については、馬瀬地域でとれた野菜がその場で食べられ、買える飲食店を出していきたいと思っています。将来的には、馬瀬の特産品を扱うオンラインストア及びアンテナショップの役割を果たす場所にしたいです。

## 活動内容

**●農作物の生産及び販売**

買い手の方に販売品目の魅力を最大限に伝えるため、自らも農作物の生産をしています。農薬、化学肥料、除草剤、動物性堆肥、Ｆ１種は不使用とし、植物性堆肥、固定種で栽培しています。
また、シェフおすすめとして、地域ブランド米「馬瀬ひかり」や農家自慢の農産物の販路開拓のため、現在「下呂市ふるさと納税」に出品しています。

**●農地の荒廃防止活動**

荒廃した農地を借り、自ら機械により耕し、農作物を栽培し、シェフお勧めの野菜を提供しています。

**●シェフとして**

馬瀬地域の「水辺のレストラン」で、うま味豊かなフライの鮎を挟んだ「馬瀬バーガー」、甘辛い甘露煮がのった「馬瀬のひやしぶっかけうどん」など創作鮎料理を提供しています。

## 連絡先

# 静岡県下田市　田中　裕香

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
静岡県藤枝市
【転出元】
静岡県藤枝市
【前　職】
エステサロン経営
【活動時期】
R２.11.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

下積み時代の都内より地元に戻り会社経営10年目にコロナ禍を迎え、生き方を変えたい強い思いになりました。地域貢献・移住のキーワードから地域おこし協力隊を知りました。その中で観光の町だと思っていた下田市の活動概要が田畑と森林の力を活かした豊かな里山部門であり鳥獣被害対策も含まれていた事が気になりました。仕事の傍ら、狩猟免許を取得し週末ハンターをしていた事、地元に戻ってからは伯父の畑の手伝いをしていた事、いつかは住みたかった伊豆半島への思いから応募に至りました。

## 今後の抱負・任期後の目標

家庭のごみを減らしたい、捨てない暮らしとしてLFCコンポストを続けてエコで豊かな畑から安心安全な野菜を作り、そんなサイクルを徐々に周りに広げて行きたいと思っています。任期後はご縁から農に関わることが出来た事で、憧れだった「半農半X」な生き方を豊かな自然と四季を感じながら実現して行くことが目標です。

## 活動内容

**●オリーブ圃場の利用**

前任者より受け継いだオリーブのまちづくり事業ですが事業縮小を知り、枯木・倒木後の空き場所を利用して薬効の高い万能ハーブのホーリーバジルを栽培し、地元の元々の生産者さんと共にホーリーバジル茶を生産しました。「地域の健康に役立つもの」になればとホーリーバジルティの普及活動中です。

**●畑への挑戦と循環生活**

活動の中にご縁があって畑を使わせて頂ける事になり、実際に野菜を作り始めました。安全美味な食糧を目指して有機栽培作物を少しづつ増やしている所です。それに伴い家庭で出る生ごみをLFCコンポストで堆肥化して利用。ごみの減量から焼却による$CO_2$削減や循環型の社会に繋げる活動を実行中。

**●獣害被害対策**

圃場や畑を管理していく中、獣害被害を受けて農家さんの気持ちがわかりました。獣害による被害は年々増えてきており、当市でも講師を招いての講習会や現地確認を開催するようになりました。狩猟者、畑に関わる者として毎回参加し今後の獣害被害対策を役所の方、地域住民と共に取り組み始めています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/tanaka.yuuka.1

# 愛知県西尾市　安江　つぐみ

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
岐阜県加茂郡東白川村
【転出元】
愛知県一宮市
【前　職】
果樹園アルバイト
【活動時期】
R4.4～ R7.3
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前に訪れたことがあった佐久島で出会った島民の方々が、観光客の私にも優しく接してくれたことで、とても好きになりました。その後島で住み込みのバイトをして何度か訪れ、より島民の方との交流が増え島の良さ、楽しさを知ったことがきっかけです。

## 今後の抱負・任期後の目標

島暮らしの経験を活かして、観光のお客様に佐久島の良さを伝えられる仕事を目標にしています。
製菓衛生師の免許を活かし、佐久島の特産品「サクのいも」を使ったスイーツ、旅の思い出になる商品などを開発、制作したり、海外のお客様にも、島の良い所をPR出来る様英会話力を活かした観光案内にも関わりたいです。

## 活動内容

**●「サクのいも」の栽培**

島の遊休農地を利用して、島で活動している団体「島を美しくつくる会」と一緒にサツマイモ栽培をしています。
島のサツマイモは潮風をたっぷり浴びて甘ーい芋になります。
出荷した芋は焼酎になります。

**●佐久島のお土産商品開発**

佐久島のキャラクター「さくしまさん」
もともと佐久島オリジナルのお土産がなかった島にお土産を作りました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sakushima@city.nishio.lg.jp（電話番号）0563-72-9607

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（佐久島HP）https://sakusima.com

# 滋賀県長浜市　隅田　あおい

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
滋賀県高島市
【転出元】
滋賀県高島市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R2.2～ R5.1
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

馬と家族のように暮らしながら関係を築いていきたい。そのためにはどのような仕事なら理想の関係を馬と築けるだろう。そんな事を考える中で、山で切り出した木を馬で搬出する「馬搬」に出会いました。馬搬をしてみたいと思い、長浜市の林業研修を受けていたところ、長浜市で林業にかかる協力隊を募集していることを知りました。研修を通して仲間もできてたことから、この長浜市で「馬搬」に取り組み、地域の里山を活用し、いろんな人が生き生きと楽しめる地域を作りたいと思い、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後は、馬とのふれあい体験事業と馬搬で搬出した木を活用した事業を展開しようと思っています。馬との様々な体験を提供して、呼び込める層を広めることで、長浜市に関わる関係人口の増加につなげていくとともに、馬搬による森林整備を行うことで、他の地域にはない特色を持たせ、森林整備に興味のある人材を地域に呼び込めたらと考えています。

## 活動内容

**●馬の調教**

今は2頭の馬と一緒に暮らしています。調教されていない馬を迎え入れたため、日々、調教をしています。馬搬をできるようになるため、馬を連れて山に入ったりしています。馬搬をするには、まだまだ練習が必要ですが、馬を通して、地域の活性化ができればと思い、今は馬のふれあい体験をメインに活動しています。道の駅や地域のイベントに出張して、ＰＲ活動をしています。

**●グリーンウッドワーク**

山に興味を持ってもらうきっかけになればと思い、生木を使った木工「グリーンウッドワーク」講座を地域団体と一緒に開催しています。いつか、馬搬で搬出した木を使ってできればと思っています。

**●馬のお世話体験**

馬の背に乗って揺れを感じたり、馬にブラシをかけ毛並みに触れたり、歩幅を合わせて散歩に行ったり、のんびり一緒に過ごして深呼吸することを思い出したり、馬と過ごす時間はたくさんの学びに溢れています。そんな学びを体感してもらえるような場として馬のお世話体験を子ども向けに始めました。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
下記のホームページ内のお問合せフォームよりお問い合わせください。

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（星の馬　ＷＯＲＫＳ） https://www.hoshi-no-uma.com/

# 兵庫県市川町　永瀬　静

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
23歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前　職】
フリーター (飲食店 等)
【活動時期】
R4.4～ R7.3
(1年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

有機農業に魅力を感じており、有機農業に取り組みたいと思ったから。また、有機農業を通した地域おこしの取り組みに加わり、地域の方や有機農業に関わる方と一緒に活動したいと思ったから。

## 今後の抱負・任期後の目標

就農をしたいと思っている。また、農業体験ができて宿泊もできる農家民宿を開き、地域にある自然や文化、コミュニティを大切にしながら、多様な方々と出会える場作りに取り組みたい。

## 活動内容

**●販路打合せ**

地元の有機農家を巻き込み、新たな販路を開拓するため、打合せを行っている。

**●収穫体験**

生産者と消費者が交流できる場を企画し、季節ごとの農作物の収穫体験を行っている。
※写真はショウガの収穫体験

**●直売会**

病院食に使用されている野菜を販売している。また、病院で直売会を行っている。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(HP) https:// kasagata-of.jimdofree.com/

# 兵庫県市川町　東　勇太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
26歳
【出身地】
兵庫県加古川市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R3.4～ R6.3
(2年目)

## 協力隊に応募したきっかけ

市川町の地域おこし協力隊は農業中心の仕事内容だったため、応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊の任期が終わっても、今、運営している笠形地域づくり協議会が存続していけるように活動していきます。また、任期後は就農を目標にしています。

## 活動内容

**●笠形コーン直売会**

笠形地域づくり協議会で栽培している「笠形コーン」のPR及びブランド化を目指し、7月上旬に直売会を行っている。

**●農業体験**

春夏コース(全10回)と秋冬コース(全10回)の農業体験を主催し、有機農業に興味・関心がある人達に向けて有機農業の魅力を発信している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(HP) https:// kasagata-of.jimdofree.com/

# 奈良県御杖村　中嶋　浩二

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R2.10～ R5.10
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

林業や自然と関わる仕事、自然を生かす仕事を考えている中で自伐型林業の事を知りました。自然の大切さを発信していきたいです。

## 今後の抱負・任期後の目標

３年間で身につけた技術で林業の担い手として活動していきます。
また、キックボクシングの指導をしていた経験を活かし、自然の中での体づくりから「生きる力」を子ども達に伝えていきたいです。

## 活動内容

**●林業研修。バックホーでの作業道づくり**

自伐型林業とは、山に作業道を付け、長期に渡って間伐を繰り返し、大径木の育成を目指す林業です。３年間の研修で作業道づくりや間伐など山の手入れの仕方を学びます。

**●間伐材の搬出**

大型機械等で皆伐を行わない自伐型林業は土砂災害を防ぎ環境保全に寄与するといわれています。作業道づくりの支障木や間伐材の搬出を行っています。

**●子どもキックボクシング教室**

放課後児童一時預かり事業の中で、小学生にキックボクシング教室を開催し、体の使い方などのトレーニング方法を楽しく指導しました。

## 連絡先

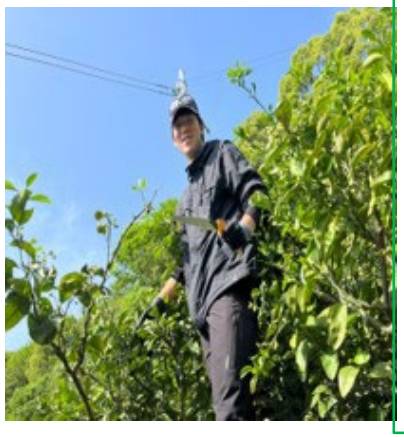
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@vill.mitsue.lg.jp（電話番号）0745-95-2001

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：https://www.instagram.com/mitsue_kyoryokutai/

# 和歌山県由良町　武田　青空

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
20歳
【出身地】
大阪府　大阪市
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
アルバイト(高校生)
【活動時期】
Ｒ３．４～Ｒ６．４
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高校卒業後に農業をしたくて探しているときに、農業をしたい人に向けた「新農業人フェア」というイベントに参加しました。
そこで初めて地域おこし協力隊の制度の事を知り、活用するしかないと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期満了まであと半分なので、協力隊の間に出来る事をやりきって卒隊後に活かせるようにします。
任期満了後、観光農園をできるようになることを目標にしています。

## 活動内容

**●人手不足解消の為のお手伝い**

高齢化に伴い人手が不足しているので、農家さんのお手伝いをしています。
また、お手伝いをしながら将来に向けた技術習得もしています。

**●農地の維持・管理**

耕作放棄地を増やさなように農地の維持を行い、次世代の農業者に引き継げるよう管理をしています。

## 連絡先

# 鳥取県琴浦町　潮見　修平

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
31歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.6～R6.12

## 協力隊に応募したきっかけ

社会人として働いている中で、農業に興味はあったもののなかなかあてもなくぼんやりとやりたいと思っていました。その中で、妻の実家琴浦町でが農業を営んでいるとのことで、地域おこし協力隊に応募し、任命いただきました。

## 今後の抱負・任期後の目標

まずは、一人前の農家として収益を上げられるよう、学習を続けていきたいと思っています。
いずれは、無理のない範囲で規模拡大し、地域に貢献していきたいと考えています。

## 活動内容

**●研修スタート**

6月1日に任命式があり、協力隊員として、研修生としてスタートを切りました。

**●地元の高校生と意見交換**

地元の鳥取中央育英高校２年生の生徒が授業の一環として琴浦町の農業研修制度について学ぶ機会があり、研修生として意見交換を行いました。
高校生からは、「失敗したらどうするのか？」といった真剣勝負の厳しい質問もあり、改めて研修生として気を引き締め、新たに決意しました。

**●農業大学校での研修スタート**

研修の一環として鳥取県立農業大学校で研修をスタート。師匠のもとで実践をしながら、農業簿記など経営に必要なことや学校の果樹園で基礎的な技術を身につけています！

開講式での1枚（前列右端）

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nourinsuisan@town.kotoura.tottori.jp
（電話番号）0858-55-7802（琴浦町役場農林水産課）

# 島根県吉賀町　渡辺　隼人

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
44歳
【出身地】
広島県　尾道市
【転出元】
広島県　福山市
【前　職】
作業療法士
【活動時期】
R３.４～

## 協力隊に応募したきっかけ

吉賀町で暮らすにあたり、業としてやっていけそうだと思い応募しました。
自然の中で体を使いながらやっていきたいと思っていて、その中で仕事を探しているときに吉賀町の協力隊に出会いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

林家として自立し、この町で暮らしていく。
そのためのノウハウ、技術を習得していく。
吉賀町の山を整備し、健康な山として継続していける状態にしていきたい。

## 活動内容

**●森師研修員育成事業**

吉賀町の森林資源を有効に活用するため永続的な森林経営が可能な森林管理システムの構築とそのシステムに沿った造林、作業道開設、収穫までを実施することのできる「森師研修員」の育成に取り組むこととしており、「壊れない道づくり」を核とした、森林作業を実践できる「森師研修員」の育成を実施している。
具体的な活動としては、町有林において「壊れない道」を小型バックホウにより開設し、開設した作業道を活用し利用間伐による木材生産を行っている。
また、長伐期の法正林施業を小規模な機械で実践する方針であり、その根幹となる「壊れない道づくり」を実践しておられる奈良県の先進林業事業体に御協力いただき実地指導を行ってもらっている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）sangyo@town.yoshika.lg.jp
（電話番号）0856-79-2213

# 岡山県岡山市　濱野　潤

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
42歳
【出身地】
岡山県倉敷市
【転出元】
宮崎県宮崎市
【前　職】
リネンサプライ配送業
【活動時期】
Ｒ３．５～

## 協力隊に応募したきっかけ

就農に関する情報収集をしている中で、地域農業の振興が活動内容となっていた岡山市地域おこし協力隊の募集を見つけたことがきっかけとなり、地域おこし協力隊について調べ、希望に合致していると感じたことから、本地域の隊員に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業を通じて地域の良さを発信することにより、地域貢献に繋がると感じています。
活動は、地域営農組合の農作業支援を主に、珍しい作物による地域のＰＲ、収穫体験等を行っています。
今後は、任期後の地域への定住を目指し、活動を通じて視野を広げ、人との出会いや関わりを大切にし、地域の方々に喜んでもらえるような活動をしていきたいと考えています。

## 活動内容

### ●地域農業支援

水稲栽培（約６町）、野菜栽培（約3反）、大豆栽培（約５町）の耕耘から播種、害虫・害獣防除、収穫、出荷までの作業の支援を行っています。
その他、地域内で栽培しているぶどう（シャインマスカット）の品質向上と収量増加が図れるよう支援しています。
農業支援を行いながら、任期後の活動にも生かせるよう栽培技術の習得に励んでいます。

### ●野菜、果樹の試験栽培

農薬や化学肥料、除草剤を使用しない自然循環型の栽培方法を勉強しています。
また、本地域の風土にあう珍しい野菜を試験的に栽培し、イベント時に販売を行うことなどにより、地域のPRに繋げています。
本地域や活動内容を知っていただくため、収穫体験等も実施しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
岡山市北区役所建部支所ホームページ
https://www.city.okayama.jp/soshiki/22-1-6-0-0_14.html

# 岡山県浅口市　早川　健星

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２７歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
IT企業
【活動時期】
Ｒ２.９～Ｒ５.８
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

私が浅口市地域おこし協力隊へ応募した理由は、瀬戸内海へ一目惚れしたからです。２０歳になり初めて岡山県を訪れるまで瀬戸内海を見たことがありませんでした。海、景色、島々を感じながら生活していきたいという思いが強くなり、好きだと思える場所で、地域に根差した仕事がしたいと考えたからです。

その中で、幼いころから家庭菜園が生活の一部にあり、いつしか自分で農業がしたいという気持ちがあり、浅口市の農業従事者ができる地域おこし協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

浅口市の中でも、海が見える寄島地区で、畑地灌漑設備の有効活用を考える中で、特にレモン農家として生計が成り立つよう頑張っていきたいと思っています。

特にレモンは、有機無農薬栽培にこだわってやっていきたいと考えており、ネット販売をはじめ、直接販売を行えるよう販路拡大にも力を入れています。

## 活動内容

**●畑の開墾**

１年目は、ひたすらに草刈りの毎日でした。草刈機、チェーンソー、耕運機のどれも初めて使うものばかりで最初は大変でした。しかし、地域の人たちに教えてもらったり、手伝っていただきながら、草を刈り、木を切っていき、畑を開墾しました。

**●レモン栽培**

レモン栽培を行っている特産果樹研究会に入会し、県農業普及員の方から剪定講習の指導をいただくなどして、レモン栽培を行っています。

**●地域活動への参加**

寄島小学校、中学校の児童・生徒とともに、地元の竜王山にトレッキングを行うなど、地域活動にも積極的に参加しています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/kenseihayakawa/

# 山口県柳井市　古谷　勇人

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
山口県山口市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
お笑い芸人（現在も）
アルバイト
【活動時期】
R1.10～

## 協力隊に応募したきっかけ

故郷である山口県が大好きで、「いつかは山口県を盛り上げることができるようなお笑い芸人になりたい。」と夢見ながら１４年間、大阪で生活していました。

お笑い芸人としては、なかなか芽が出ず、将来をどうすべきか悩んでいた令和元年６月に、所属している吉本興業㈱から「地域おこし協力隊員として、山口県の離島で生活するお笑い芸人を募集する。」とのメールを受け取り、自分を変えるきっかけにしたいと思い、思い切って応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

平郡島の魅力をTVやYouTubeを通じPRし、若い方にも関心をもってもらえるよう努めたい。そのことで、平郡島への移住者が増えることを目指します。

平郡島でしか栽培されていない、さつま芋の品種である「へぐり丸」を生産しPRしていきます。「へぐり丸」を全国的なブランド野菜にしたい。

## 活動内容

**●へぐり丸（さつま芋）の生産**

島の伝統野菜である、さつま芋の「へぐり丸」を生産しています。「へぐり丸」を使用した焼酎を造酒屋に委託して作っています。

**●平郡島のPR**

イベントやYouTubeを通じ平郡島をPRしています。瀬戸内の自然豊かで、ゆったりとした時が流れる平郡島の魅力を多くの方に知ってもらい、平郡島を訪れてもらえるよう情報を発信しています。

**●地域行事の支援**

運動会、盆踊り、文化祭、餅つき大会など平郡島の地域行事の運営支援をしています。持ち前のユーモアと笑いのセンスを活かして地域行事をもりあげています。

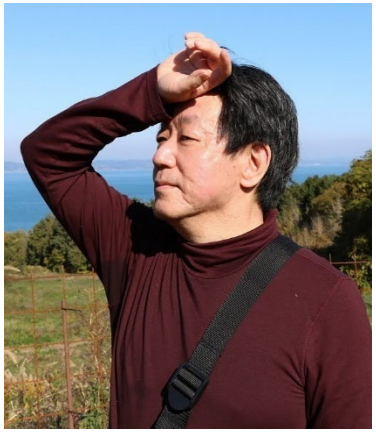
## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
https://www.youtube.com/channel/UCtQDl4soHJy_mcBkpQ3Guag
https://www.facebook.com/heigunstory/photos/a.1569672226620285/1569672236620284/?__tn__=%3C

# 香川県土庄町　中口　元希

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
58歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
香川県小豆郡土庄町
【前　職】
編集デザインDTP
【活動時期】
R.2.12.1～R.5.11.30
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職を続けていても将来への展望が持てず、大阪での生活に閉塞感を抱いていた。以前より豊島で暮らしたいと思っていたところに地域おこし協力隊を募集していることを知り応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

農業に関わりたいと思う人々や、就農者ほか地元住民の為に役立つことをやっていきたい。
地元の野菜や米粉を使ったメニューを飲食店と協力して開発していきたい。

任期後も豊島で何かの職業に就きながら、副業で農業をしたり、地元の飲食店と共に「食の島」をアピールできるような活動を続けていきたい。

## 活動内容

**●棚田エリアの景観維持**
実働農地や耕作放棄地の草刈り。農道整備。害獣除けフェンスや電気柵の保守点検。

**●農作業**
棚田での米作り。果樹、野菜、綿花の生産。

**●野菜即売会**
自分たちの畑や果樹園で収穫したものの他、農家からの依頼も含めた野菜や果物の販売。毎月2回実施。

**●棚田エリアでのイベント開催**
田植え、稲刈り、サツマイモや果樹の収穫などの体験イベントを定期的に実施。

**●農業関連以外の活動**
体育協会のメンバーとして、地元住民の健康増進イベントの運営に参加。
唐櫃浜盆踊り大会実行委員会のメンバーとして、途絶えていた盆踊り大会を復活させる活動に参加。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
Facebook「てしまぐらし」
https://www.facebook.com/てしまぐらし-102362191748023

# 香川県土庄町　児戸　源太

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
32歳
【出身地】
香川県土庄町
【前　職】
酪農業
【活動時期】
R3.7～ R6.6
（2年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

元々、畜産業で独立したいと思っていた時に知人の方から地域おこし協力隊を募集しているのを教えていただき応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今後も土庄町の畜産や小豆島オリーブ牛の知名度向上になるような活動をしたいです。
任期後は土庄町で畜産農家として自立したいです。

## 活動内容

**●技術の習得**

町内の農家さんの所で畜産に関する作業を通して基礎的な知識、技術の習得を通して、自立する際の参考にする。

**●農業研修**

畜産農家さんでの現場作業を通して畜産に関する技術や基礎的な作業を習得する。

**●snsを通しての広報活動**

インスタグラムで土庄町の畜産農家さんでの活動や技術、小豆島オリーブ牛の紹介等を行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）
https://www.instagram.com/shodoshima_olive_fedwagyubeef

# 香川県土庄町　大西　歩

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
兵庫県三田市
【転出元】
兵庫県三田市
【前　職】
学生
【活動時期】
R2 .5 ～R5.3
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

小豆島で林業をしたかったから
小豆島の林業に興味があったから

## 今後の抱負・任期後の目標

林地残材を利用して商品を作る
小豆島の森林の状態を維持向上する
森林サービス産業について先進的な事例を見学し、小豆島で取り組めないかと考えている
木を切る技術を向上し、安全に作業できるようにする

## 活動内容

**●作業体験**

任期期間中は土庄町森林組合に作業体験を依頼している。写真は土庄町内にある八坂神社の境内にある木を切っているところ。

**●学生への説明**

依頼があれば、県外の学生向けに森林や林業のことを説明することもある。写真は修学旅行で小豆島に来た中学生向けに説明してるところ。紙芝居形式で説明できるようにしており、会議室でも森林の中でも同じものを使っている。

**●林業研修**

林業関係の研修に参加している。写真は、ロープを使って木に登り枝や幹を切る研修を受けているところ。

## 連絡先

電話0879-62-7007（職場）
SNS「土庄町地域おこし協力隊」
https://www.facebook.com/tonosho.kyoryokutai/
SNS「土庄町地域おこし協力隊（林業」
https://www.facebook.com/tonoshou.shinrin/

# 愛媛県松山市　藤本　周一

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
６７歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
東京都小金井市
【前　職】
東京都
【活動時期】
Ｒ３．４～Ｒ６．３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

忽那諸島の魅力発信を通して、人を呼ぶ・集める活動を展開したいと考え応募した。

## 今後の抱負・任期後の目標

「地域資源を活かした特産物の開発」や「耕作放棄地・低未利用農地を活かした地域農業の活性化」等を行いたい。任期後についても、農業を通じて地域の活性化につながる仕事をしたいと考えている。

## 活動内容

**●農園芸に係る活動**

忽那諸島の主産物（柑橘類）の生産振興のため、県や農協の生産技術指導担当者の支援を行っている。その他、柑橘類以外（アボカド・パッションフルーツ等）の作物栽培に関する助言や支援も実施。

**●生活環境整備に係る活動**

狩猟（ワナ・猟銃）免許を取得し、獣害対策の活動支援を行っている。

**●教育機関との連携による学習支援**

愛媛県立松山北高等学校中島分校の生徒に対して、小麦の栽培指導や校内の菜園の管理指導を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shuuichi.fujimoto@city.matsuyama.ehime.jp
（電話番号）089-948-6816

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/people/松山市地域おこし協力隊/100067691480734/

# 愛媛県今治市　平岡　正

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
48歳
【出身地】
愛媛県　久万高原町
【転出元】
東京都　渋谷区
【前　職】
情報システム
【活動時期】
R3.1～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前よりワイナリーを作りたいと、候補地を探していたところ、今治市の大三島にすでにワイナリーがあり、土地の性質や日照時間、立地場所を鑑みて大三島にとても興味が沸いた。移住の方法を調べていたら地域おこし協力隊のことを知り、今治市がフリーミッションということも分かり、応募に至った。

## 今後の抱負・任期後の目標

5年以内にワイナリーを作りたい。二年目の春に農地を取得し、700本の苗木を植樹できたので、今後も農地を拡大し、もっと苗木も植えて醸造免許が取得できるだけの生産本数を確保できるようにする予定。
島内2番目のワイナリーとしてワインツーリズムなど、大三島の観光産業にも寄与できるよう活動していきたい。

## 活動内容

**●活動内容１**

大三島みんなのワイナリーでの畑作業、醸造の手伝い。一年を通して必要なブドウ栽培について学び、醸造についても基本作業を教えて頂く。

**●活動内容２**

耕作放棄地を探して借地、または購入して自分の圃場として整備を開始。全体で4反ほどの畑になったので醸造用ブドウを700本植樹。草刈りや防除など必要な作業を通年で実施。

**●活動内容３**

地域のイベントの手伝いや参加。地域の有志の方で作っているマヤマックスキッチンという団体の郷土料理教室に参加したり、祭りにボランティアスタッフとして参加。小学校の運動会や地域の草刈りなどに参加し、地域住民の方と交流。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

HIRAOKA.VINEYARD

# 愛媛県大洲市　中村　光一

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
３０歳
【出身地】
東京都
【転出元】
千葉県山武市
【前　職】
農業
【活動時期】
Ｒ３.９～Ｒ６.８
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

今までの農業や庭師、海外渡航などの経験を活かして、生活に自然を取り入れる提案をしたいと考え、地域おこし協力隊になることを決めました。

大洲市を選んだ理由は、農業部門でも活動の幅が広いことに加え、実際に事前に訪れた際に歴史的な町並みや文化、豊かで変化に富んだ地形、温かい人たちに肌で触れて、ここでなら何とかなりそうと考えたからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

大洲市の地域おこし協力隊（農業部門）の１年目は、市内全域を見て回り、各地域や大洲の農業について学びました。その中で、ほたる祭りや藤縄神楽、雲海などから独自の魅力を感じ、柳沢地域で就農することを決めました。

現在、住まいの確保や耕作放棄地の整備に加え、地域に入っていくために各イベントや会合に参加をしています。

退任後、美しい地域の景観を維持しながら、農業を中心として、盆栽や造園、うかいの船頭、狩猟などを組み合わせて稼いでいけるように取り組みます。

## 活動内容

### ●市内の植物を利用して「THUGIKI」起業

市内に残る里山文化や自然などを伝えつつ、人が集まるような場所を就農場所で作ることと、退任後の農業以外の副収入外とするため、市内にある自然のものを活かした盆栽・花束の販売や造園を副業として「THUGIKI」を開業しました。地域のマルシェなどに参加しています。

### ●放置竹林の竹を活用したハウスの試験製作

大洲市が県内で最も放棄竹林が多いことや鉄の価格高騰への対応、里山の景観維持を目的に、竹を用いたビニールハウスの試験製作を行いました。今回は小さなものを製作しましたが、今後は営農用にさらに大きなものの試作を行う予定です。

### ●地域の文化継承活動に参加

市内に残る文化を継承していきたいと思い、「大洲のうかい」の船頭の研修を受け、今年デビューしました。また、今年から柳沢地域で就農するために活動をしており、地域のお祭りや各イベントの実行委員会等に参加して情報収集に努めています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
・メールアドレス　kouichi.nakamura@city.ozu.ehime.jp
・電話番号　０８９３－２４－１７２７

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram　Facebook　大洲市HP

THUGIKI.OZU

# 愛媛県久万高原町　生島　尚

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
47歳
【出身地】
愛媛県松山市
【転出元】
愛媛県松山市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ２.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より農業に興味があり、会社員時代に久万高原町と縁が出来家庭菜園を行っていた。
思いのほか楽しいのと、上手く栽培出来ないので本格的に取り組みたいと思い、久万高原町での転職活動を行っていた際に協力隊で農業ミッションでの募集を見つけた為、応募を決意。

## 今後の抱負・任期後の目標

ホップ栽培を本格的に取り組み、他ミッションの協力隊員が進めているクラフトビール事業の一助となるよう頑張ります。
他、栽培に取り組んでいる雑穀、自然薯栽培の規模を拡大し生業とできるよう取り組んでいきたいです。
他の農家との差別化を図る為、有機無農薬栽培に取り組んで付加価値を付ければと考えます。

## 活動内容

**●ホップ栽培**

久万高原町クラフトビールの商品化の一翼として地元産ホップの実証栽培に取り組む。
試験栽培を任期2年目から行い、3年目に地元産100%ホップを使用してのクラフトビールの委託醸造まで行えるようになった。

**●雑穀栽培**

愛媛県・農業指導班が推進している雑穀の普及活動と協力して、キビ類の栽培を任期2年目から実施。
タカキビ、コキビ、地トウモロコシ、黒モチキビ等の栽培を行い、精米・製粉等を行い商品化、出荷。

**●自然薯栽培**

自然薯部会の会長を紹介頂き、自然薯栽培に任期2年目から取り組み。
指導を頂きながら良品の栽培技術を勉強中。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/kumakogen.kyoryokutai

# 高知県室戸市　鈴木　蓮也

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２２歳
【出身地】
愛知県豊橋市
【転出元】
長野県上田市
【前　職】
農家
【活動時期】
R4.8.1～ R7.7.31
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

「独立したい、それを農業でしたい。」と愛知県にいる頃から思い、趣味がサーフィンをはじめとした海辺でのアウトドアのため、自然豊かな室戸へ移住することを長野県への移住以前から考えていました。パンデミックの情勢が少し落ち着いたくらいに、自分に合った地域おこしの「ミッション内容」の募集がされていたため再び室戸へ訪れました。協力隊の現地案内といった事前見学の際に、運や人に恵まれ多くの同年代や人と知り合え、田舎移住に対する不安がなくなったことも大きく影響しています。

## 今後の抱負・任期後の目標

私は室戸の日南（ひなた）地区、「集落活動センターひなたぼっこ」にて、農業振興、主に伝統野菜「ぼたなす」の栽培・PR・販促活動を行っています。高齢過疎化が進んでいる地区のため、日南地区での農作業者を増やしたいと考えています。

任期後も日南で地区で農業を続け、「ぼたなす」の他にも作物を育てたいと考えています。そのために、日々農業の勉強をするほか、地区の方との時間も大切にしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●高知の日曜市**

日南（ひなた）地区「集落活動センターひなたぼっこ」で農業振興、主に伝統野菜「ぼたなす」の栽培・PR・販促活動を行っています。

高知市で行われている日曜市で、収穫したぼたなすの出店をしました。ぼたなす農家の方による実際の販売を見るなど、販促活動について多くのことを学びました。

**●共に勉強**

ぼたなすを販売されている谷口さんとの一枚。アドバイザーの方に合同でアドバイスを聞くなど、日南地区や「ぼたなす」の発展に向けて学んでいます。

そして、日南地区について谷口さんをはじめとした地区の方々に教えていただいています。

**●収穫体験**

採れたての「なす」は、へたがトゲトゲしている。といった新鮮な「なす」の見分け方を学び、体験に来てくださった方にそのことを伝えました。その他に、その場で「なすの丸焼き」を食べてもらうなど普段できないことを体験できるプログラムを組み活動しています。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）mr-010900@city.muroto.lg.jp（電話番号）0887-22-5117

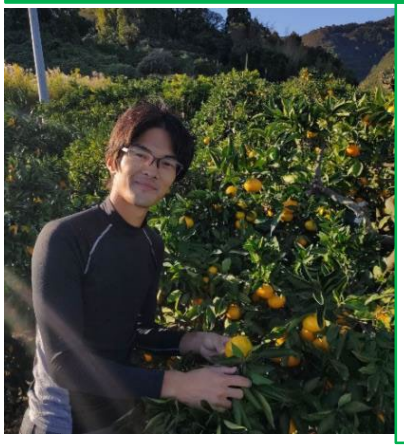
【インスタグラム】 ひなたぼっこの更新を主に行っています。

HINATABOCCOLIFE

# 高知県香南市　小島　漱一郎

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
接客サービス業
【活動時期】
R３.４～R６.３
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

以前より高知県にて生活をすることを目標としていて、その中でも興味のある業種（農業）への就業をサポートいただけるプログラムを当市の地域おこし協力隊にて実施しているため、応募させていただきました。
募集情報は東京での高知移住フェアと現地取材において関係者から伺いました。

## 今後の抱負・任期後の目標

みかん栽培技能の習得と、研修にて管理させていただいている園地（主に耕作放棄をされ荒れ気味の畑である）をより綺麗に管理し、地域の方に信頼いただける新規就農者となるべく行動いたします。

## 活動内容

**○収穫をしたみかんの選果実作業**

行政と包括連携協定を結ぶ民間企業にて新規就農へ向け通年みかんの栽培の実地研修をさせていただいております。その傍ら地域のイベントやみかん農家さまのお手伝いも行っております。画像は収穫後のみかんを綺麗なもの（秀品）、傷のあるもの、加工用に大きく分けてゆく作業風景です。この後さらにサイズ別に分ける作業を行います。

**○果実肥大調査風景**

研修の中ではJAの営農指導員による現地調査にも同行させていただいております。写真は収穫までのみかんの実の肥大率をチェックしてゆく作業で、ほかにも収穫間際の糖酸度調査や現地栽培講習会などにも参加させていただいております。

**○山北みかん販促PR活動への参加**

研修先の企業と民間団体、行政とが連携し執り行った山北みかんの販促PRイベントにて会場スタッフとして商品説明を行いました。このほかにもふるさと納税返礼品であるミカンの木のオーナー制度における木に掲げる愛称看板の制作なども行っています。

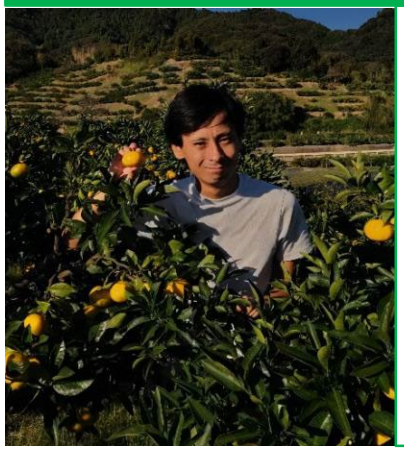
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域おこし協力隊Instagram）konan_city_kyouryokutai
（研修先会社Instagram）yamakita.mirai

# 高知県香南市　春田　航輝

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県鎌倉市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
大学院生
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊に応募したきっかけは昨年末のみかんの収穫時期に「こうなんワーキングホリデー」に採用いただいたことです。その際に1か月半の間、香南市に滞在しながら収穫作業をはじめとしたみかん農家の繁忙期の作業に従事させていただき、そのことがきっかけで果樹栽培を仕事にしてみたいと思い、みかん研修生の協力隊に応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

１年目の今年はみかんを栽培するために必要な技術を取得するための活動を行っています。2年目以降はそれをさらに効率的に行えるようにして、協力隊卒業後はみかん農家として独立できるようにしたいと思っております。

現在はコロナ禍の影響でイベント等も行われておりませんが、今後は香南市の特産物である山北みかんの販促・普及活動にも貢献していきたいと思います。

## 活動内容

**●雑草との戦い**

春から収穫までの間は雑草との戦いです。夏の炎天下の中、草刈り作業や除草剤の散布に追われる日々です。これまでよく考えたこともなかった雑草の成長スピードに驚かされた1年目でした。

**●収穫**

10～12月は春から育ててきたみかんの収穫時期です。1日に数十トンにも及ぶみかんを人の手で収穫していかなくてはいけないのでアルバイトの方にも来ていただきご協力いただきます。収穫に際してはアルバイトの方や農協の方としっかりコミュニケーションを取る必要があります。

**●選果作業**

みかんは収穫して終わりではなく、倉庫へ運んだみかんをサイズごとに振り分け、傷ついたものを選別する選果作業まで行う必要があるので収穫期は大忙しです。

収穫されたみかんの山を選果してようやく出荷に至ります。

## 連絡先

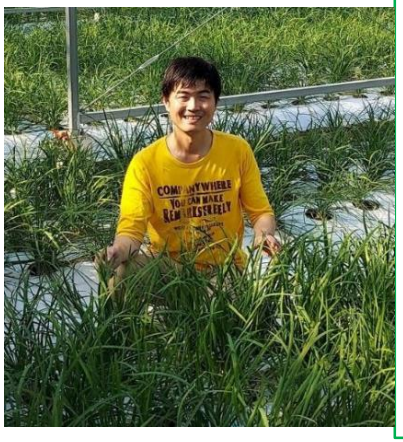
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nourin@city.kochi-konan.lg.jp
（電話番号）0887-50-3015（職場）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（特になし）

# 高知県香南市　小比賀　拓也

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
香川県高松市
【転出元】
香川県高松市
【前　職】
ＩＴ関係
【活動時期】
R4.5～ R7.4
（1年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

高知の自然と美味しい食べ物、よさこいなどに魅了されて高知に憧れを抱くようになりました。特に産直市や良心市めぐりで農作物に癒されることが多く、“高知で暮らすなら農業”と思いました。そして様々な品目を調べたなかで自分にあっていると思うニラを選びました。

## 今後の抱負・任期後の目標

ニラ農家は近隣の農家さんや地元のそぐり手の方の支援があって成り立つ仕事です。そのため栽培技術を習得するだけでなく、地元でお手伝いできることがあれば積極的に参加していきたいと思います。

任期後は地域のニラ生産の一端を担い、後継者を育成できる農家を目指したいと思います。

## 活動内容

**●地元の農家さんでの栽培研修**

ニラ農家さんのもとでニラの栽培について学んでいます。早朝からの収穫、そぐり作業、ビニールハウス管理など慣れないことだらけですが、毎日が新鮮で楽しいです。

**●サポートハウスでの栽培実習**

香南市のサポートハウスにて、ニラの栽培実習を行っています。農家さんから教えていただきながら土づくりから畝立て、ニラの定植、栽培管理、収穫など一連の栽培実習を行っています。

**●地元のお祭りへの参加**

のいち佐古祭りに準備から参加させていただきました。地元の方と知り会えるいい機会でした。
お祭りは朝から晩まで多くの方でにぎわい、特に“ニラ飛ばし競技”はニラを持ってどれだけ遠くまで飛ばせるかを競うお祭りでした。

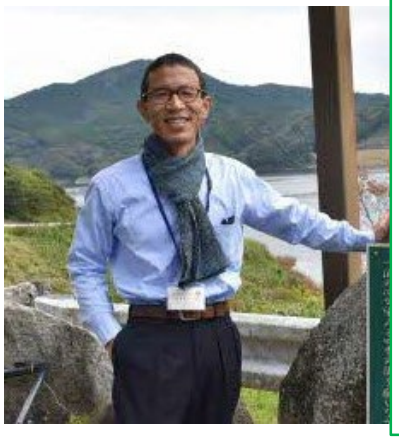
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（地域おこし協力隊Instagram）konan_city_kyouryokutai

# 佐賀県佐賀市　中西　紀元

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
57歳
【出身地】
神奈川県　横浜市
【転出元】
東京都　あきる野市
【前　職】
民間会社の営業職
【活動時期】
R３.７～

## 協力隊に応募したきっかけ

かねてから地球環境に興味があり、環境問題に係る仕事に携わりたいと考えていた。残念ながら、前職の民間会社での仕事は、売り上げ拡大を目標とした大量生産・大量消費を促すものであり、積極的に環境を守ることにはつながっていないと考え、会社を早期退職。
その後、自然の中で生活したいと考える中で、佐賀市富士町で募集していた地域おこし協力隊に興味をもち応募。

## 今後の抱負・任期後の目標

これまで行ってきた、森林環境教育関連に加えて、県や市、地域の森林組合と一緒になって、林業従事者を増やすための取り組みを行う。
また、施業に携わる自伐型林家になるための準備として、車両系建設機械運転等の必要な資格取得を行う。

## 活動内容

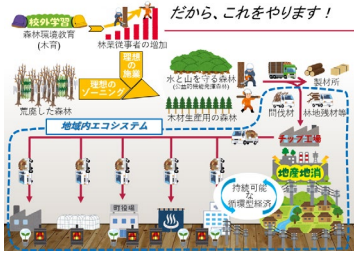
**●佐賀の山をもっと佐賀の人に知ってもらうために講義を実施。**

佐賀県や佐賀市における森林と林業の現状について、大学の講座や高校生を対象とした就業体験で講義やプレゼンテーションを行っています。活動を通して、佐賀市民に地元の森林や林業に興味をもってもらい、就業者の増加につながればと活動中！

**●自身も森林施業に携わるための活動を実施。**

隊員卒業後も森林に携わっていきたいとの思いから、自伐型林家育成のための研修に参加。刈払機や伐木のためのチェンソーの安全講習受講から、専門家の指導のもとで、伐木を運び出すための作業道開設に必要な機械運転の講習など幅広い資格取得のため現在勉強中！

**●地域内エネルギーの可能性に挑戦。**




地域資源である木質バイオマスを生かした発電・売電計画への参画や熱利用の可能性の模索など、持続可能な地域内エネルギー循環システムの構築に向けて他の自治体の事例確認や研修会に参加し、日々研鑽中！

## 連絡先


【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shinrin@city.saga.lg.jp（職場）
（電話番号）0952-58-2183（職場）

# 佐賀県佐賀市　玉邑　祥己

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
36歳
【出身地】
福井県鯖江市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
営業
【活動時期】
R3.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

移住を決める上で、せっかくであれば地域活性化に貢献出来る事をしたいと考えた。その為には、まずは、地域に入り、知るという事が必要と考え、協力隊であればそれが可能、また、任期中に地域課題を見つけ、解決に努めれると考えたから。

## 今後の抱負・任期後の目標

任期後は農地を守る事、支援をしていきたいと考えています。現在、佐賀市中山間地区は高齢化が進んでいます。
その中でも、自分の田、畑などの土地を守っていこうという方もいらっしゃいます。そういう方を支援できるサービスを提供し、地元の方々と共に協力して守って行きたいと考えます。

## 活動内容

**●産業用ドローンによる農薬散布**

水稲の除草剤、農薬散布をオペレーターとして行いました。作業面積は30町以上
中山間地区には狭い圃場が点在している為、
ドローンにはぴったりの場所。
地元の先輩の方々には操作難易度も高い為、
現在オペレーター不足という状況。

**●休耕作地を借りて農産物生産**

地元の方の、土地をお借りして野菜を生産しています。現在は、さつまいも、玉ねぎ等。
鍬で土を耕していると近所の方がトラクターでしてくれました。
ノウハウもない素人ですが、販売出来る様なクオリティーまで持っていければと思います。

**●米 生産～販売に向けて補助**

広域を管理する組織で生産作業～直接販売に向けての作業を行いっています。
今までの既存ルート（卸売り）以外で直接、消費者につなげるる為、今後イベント出店やEC出店のサポートをしていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiiki_kyoryoku@city.saga.lg.jp

# 長崎県長崎市　水野　新

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
東京都　港区
【転出元】
岐阜県　多治見市
【前　職】
一般社団法人　理事職
【活動時期】
R3.3～

## 協力隊に応募したきっかけ

妻の妊娠を契機に子育てに最適な農村部への移住先を探していた折、長崎市の募集を知る。当地の美しい自然環境と募集内容が希望する農業関連活動であった事から、応募に至る。

## 今後の抱負・任期後の目標

現在の活動地域に定住して、地域の自然資源を活かした事業を行う。また、子育て世代の移住希望者に対して、何らかの形で移住支援をサポート出来るような取組みを実施したい。

## 活動内容

**●大中尾棚田保全組合のサポート**

大中尾棚田保全組合（神浦地区）において、組合員の各種農作業や組合が実施する各種イベント等の実施支援を行っている。

**●有機水稲栽培の実施**

大中尾棚田ならびに外海地区における有機農業を促進等を目的として、大中尾棚田で試験的な水稲の有機栽培（生産）を実施している。

**●有機ハーブティーの生産**

外海地区における有機農業の促進および特産品開発の一環として、ハーブの有機栽培・加工（ハーブティー）を実施している。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ＨＰ）　https://www.sotome.life

# 長崎県新上五島町　鉄川　吉康

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
長崎県　新上五島町
【転出元】
埼玉県　春日部市
【前　職】
機械設計者
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

地場産品や地域おこしに興味があり、地元の農産物で地域を盛り上げたく地域おこし協力隊になりました。

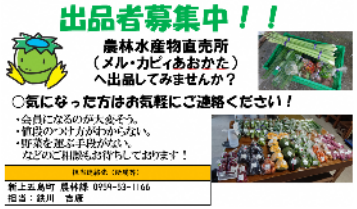
## 今後の抱負・任期後の目標

直売所の会員数を増やし、長く続けていただけるようにモチベーションを維持して頂ける工夫を行いたい。
任期後は地場産野菜を使ったお店ができればと考えています。

## 活動内容

**●直売所の新規会員の確保**

高齢化に伴い退会される方や、畑の規模を縮小される方が増えている為、会員数を増やすために町内の畑を回り新規会員の確保に努めている。




**●出荷手段がない方の補助**

野菜は作っているが、直売所まで運ぶ手段を持っていない方がいらっしゃるため、会員確保の合間にご自宅から直売所まで野菜の集荷の補助を行っている。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）y.tetsukawa@town.shinkamigoto.nagasaki.jp
（電話番号）0959-53-1166

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/chioko_snkm/
（Facebook）https://www.facebook.com/kami510chioko

# 熊本県玉東町　稲田　郁人

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R3.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

上京し十数年が過ぎたが、いつかは地元熊本に戻り子育てをしたいと考えていた。また、以前より農業に興味があって新規就農を目指しており、今回農業に関する募集を見つけたので、参加を決めた。
将来、地元である熊本に戻り農業をしたいと思い応募しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

玉東町の新鮮な農作物のおいしさ、生活環境利便性や教育環境充実、または観光資源等、町の「良さ」を発掘し多くの方が訪れてくれるよう取り組んでいきたい。
　さらに自身も就農を目指し、日々の時間を大切に活動していきたい。
今後はみかん栽培に向けて地元農家の元、知識技能を習得し、任期後はみかん農家として新規就農を目指す。

## 活動内容

**●地元農家での農作業**

玉東町の若手農家団体である「ぎょくだん」の元、玉東町名産の、みかんや梨、スイカの農作業を実施。農業未経験のため慣れない作業だが、何事も新鮮で日々勉強になる。

**●ハニーローザの栽培**

玉東町が生産量日本一を誇る、幻のスモモ「ハニーローザ」の栽培を実施。収穫までの摘果や防除作業等を実施し、甘く大きい実を収穫することができた。また、毎年6月には収穫祭を開催しハニーローザの普及活動を行っている。

**●物産展で玉東町のPR**

物産展でハニーローザや梨の加工品等を販売し、県内外の方々に玉東町の知名度向上に向けた活動を実施。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）玉東町地域おこし協力隊

# 熊本県菊陽町　秋築　要介

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
40歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

転入する地域に貢献し、コミュニティづくりを円滑に行うことで安心して楽しく新生活を送るため。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動内容を可視化できるよう、WEBサイトの充実を図る。

## 活動内容

**●総合交流ターミナルの宣伝に関する活動**

SNSコンテンツや掲示物等を制作し、新規顧客の誘客を行う。施設に関するPRを行う。

**●農産物イベントの企画・運営に関する業務**

集客や記録、当日の運営など総合交流ターミナルのイベントへの協力。

**●農産物の販売促進**

商品や品種、生産者の情報提供をする掲示物などの制作。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（製作中_菊陽町地域おこし協力隊）https://kikuyotown-lrct.studio.site

# 熊本県菊陽町　平田　悠

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
24歳
【出身地】
奈良県　奈良市
【転出元】
奈良県　奈良市
【前　職】
無職
【活動時期】
R4.6～

## 協力隊に応募したきっかけ

自然に囲まれた土地で様々な人と関わる中で、自分自身に合ったライフワークを見つけたいと思ったため

## 今後の抱負・任期後の目標

都市部と農村部の繋がりを良好なものにするために、地域の方との関わりを拡げながら農産物の魅力を伝えられるよう取り組んでいきたいと考えています

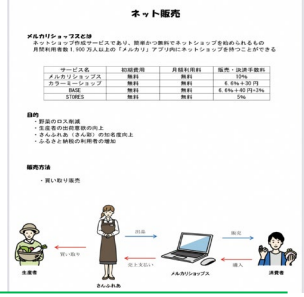
## 活動内容

**●総合交流ターミナルの宣伝に関する業務**

施設公式のＳＮＳの運用

**●イベントの企画・運営に関する業務**

都市部と農村部の交流となるイベント作り
新規の顧客の方が施設を利用していただけるようなイベントの企画
施設内イベントのサポート




**●農産物の販売促進**

店内商品のレシピ作成を行い、特設サイトでの掲示
ネット販売を通しての食材のロス削減

## 連絡先

# 熊本県芦北町　石津　義秀

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
58歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
福岡県北九州市
【前　職】
・ダイレックス株式会社
・(有)コンフォートクリエーション　ほか
【活動時期】
R4.4～

## 協力隊に応募したきっかけ

・芦北町をテレビ番組で見た際に、海と山に囲まれた温暖な地というイメージを持ち、「芦北町に住みたい」と思ったため。
・ミッションであるオリーブ事業が、今年度から実証栽培を開始する初めての取組みであるためやりがいを感じたため。

## 今後の抱負・任期後の目標

・オリーブの栽培技術を習得し、実の収穫を軌道に乗せたい。
・実の収穫量が安定するまでに、商品化や観光農園化等に向けた長期的な計画を立てて事業の確立に備えていきたい。
・これまで職務経験のある観光業の知識を活かし、御立岬公園の観光全般に関わり盛り上げていきたい。

## 活動内容

**●オリーブ試験圃場での栽培管理と技術習得**

・14品種の苗木を250本植栽、更に成長状況の良い８品種を250本追加で植栽し、成長記録のチェック等を行い実証栽培を実施しています。また、栽培に必要な施肥、防除、草刈り等の作業をスケジュールを組み立てて実施していいます。

**●オリーブ加工品開発**

・オリーブの実が生るのは３年生の苗を植えてから３年後と言われているが、今年少量の収穫ができたことから、実験的に実の塩漬けの加工、オリーブ茶の試作、簡易搾油機を使った搾油を試みました。
・今後、３年後の収穫を見込み搾油機の導入や加工場の整備を行っていきます。

**●技術習得のための視察及び研修**

・御立岬でのオリーブ事業の取組みはスタートしたばかりでノウハウがないため、先進的に取り組んでいる自治体や企業に視察研修を行っています。
・今後は、栽培過程で必要な剪定等の作業研修や先進地への視察を行っていきます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
0966-82-2511（内線275）＜芦北町役場農林水産課内＞
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
『芦北町地域おこし協力隊』の活動紹介FB

# 熊本県あさぎり町　山添　敏孝

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
30歳
【出身地】
千葉県市川市行徳
【転出元】
千葉県市川市行徳
【前　職】
システムエンジニア
【活動時期】
R1.12～ R4.12
（3年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

前職の息抜きに始めた家庭菜園で野菜を作る楽しさや、作った野菜を食べてもらって「美味しい」と言われる嬉しさを知り、昔から興味のあった農業に若いうちからチャレンジしてみようと一念発起し、まずは東京で主催された「全国農業フェア」に向かいました。そこで「地域おこし協力隊」の存在を知り、総務省の地域おこし協力隊の募集ページからあさぎり町の募集を見かけ応募させて頂きました。

## 今後の抱負・任期後の目標

今年で任期が満期を迎えて、任期終了後はあさぎり町のふるさと納税の管理など地域に密着した仕事をさせていただき、地域に貢献していきたいと思っています。また折を見て就農するチャンスがあればしたいと考えています。もともと農業がしたくて来たので、今後も地域や農業に携わっていきたいと思います。

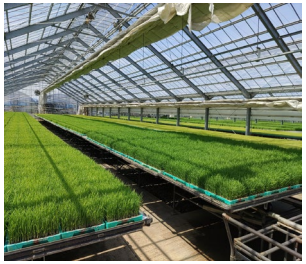
## 活動内容

**●ほうれん草の収穫**

あさぎり町の冬の農業支援センターでの仕事の主な作業になります。朝、霧が深い中みんなで横一列になってほうれん草を収穫し、コンテナに入れていきます。11時ごろには霧が晴れて太陽が出てくるのでとても気持ちがいいです。

**●お米の育苗**

春先になってくると、農協の育苗センターでお米の育苗の作業が始まります。あさぎり町全体の食用米、飼料米、焼酎米を作っているので種まきだけでも1日中かかります。苗ができると農家さんが取りにくるので、その際にお話しをさせていただいたりして、仲良くさせていただきました。



**●あさぎりのグルメ**

僕はあさぎりの広報紙を通して自分の活動や近況報告をさせていただいているのですが、あさぎり町の食について伝えるのも大事だと思っており、時折このように食べ物を載せていただいています。広報紙を見て初めて足を運んだ方も結構いたようです。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info-asagiri@asagiri.kumamoto.jp
（電話番号）0966-45-7211(企画政策課直通番号)

# 宮崎県諸塚村　神保　広武

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
41歳
【出身地】
神奈川・相模原
【転出元】
同上
【前　職】
無職
【活動時期】
R4.5～

## 協力隊に応募したきっかけ

林業が盛んな場所だったため。農林業訓練コースで、現場での体験を通して山で生きるスキルを身につけられると思ったため。

## 今後の抱負・任期後の目標

上記を実行できる環境作り。

## 活動内容

**●林業勉強**

刈払機やチェーンソーなどの各種資格の取得。
杉苗やクヌギ苗の植林、造林予定地の地ごしらえなどの作業に参加。
地元の林業事業所へ研修、林業現場を見学。

**●稲作勉強**

田起こし、代掻き、田植え、除草、水管理、収穫までの流れを学ぶ。田を借用し、自ら田起こしから収穫までを行った。

**●しいたけ原木栽培勉強**

駒打ち、本伏せ、起こし木、榾場整理などの作業に参加。
木材の玉切りなどを体験。

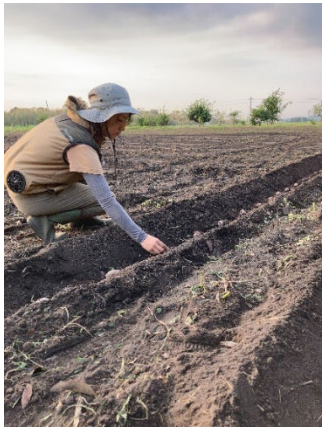
## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
諸塚かてゃーり隊　https://morotsuka.fan

# 鹿児島県志布志市　森田　真奈

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
34歳
【出身地】
鹿児島市
【転出元】
鹿児島市
【前　職】
飲食店・生花店
【活動時期】
Ｒ３．１～Ｒ６．１
（２年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

植物を一から育てたいという思いがあり、「農業求人」で検索したところ、いちごの栽培技術と経営を一から教えて頂けることに、とても魅力を感じ応募させて頂きました。
約1年半いちごの研修を受けましたが近年の資材高騰などにより一人での栽培が難しくなり、現在は大崎町で日本の定番野菜からフランス・イタリアなどの西洋野菜を少量多品目栽培をしている「トモタカファーム」さんのところで研修させていただいています。

## 今後の抱負・任期後の目標

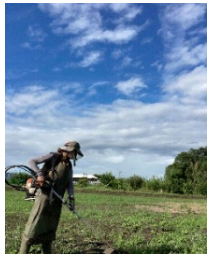
研修で学んだことを活かしながら借りた畑で野菜などを栽培。
女性一人でも農業が出来るように自立就農を目指しています。そして、若い世代に繋げていけたらと思っています。

## 活動内容

**●研修先での様子**

8月の中旬より、日本の定番野菜からフランス・イタリアなどの西洋野菜を少量多品目で露地栽培をしている、大崎町のトモタカファームさんのところで研修をしています。
画像は夏野菜（薄紫ナス・水茄子・万願寺唐辛子・フェアリーテイルナス・フルーツトマト・ダビデの星オクラ）

荒れ地の畑を借りて、夏場は雑草が生い茂るので月に２回ほど草刈りしていました。
初めての草刈り機、１時間続けてやると振動で手の震えが止まらなかったです。



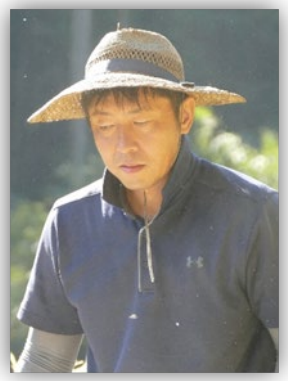
9月～10月は土づくり、種まき、苗植え
ミニ耕運機を購入して土づくりをしています。露地栽培は体力が必要とする作業が多いです。
毎日天気を見ながら季節の移り変わりを肌で感じています。

## 連絡先

# 鹿児島県湧水町　鳥羽　一輝

**農業・林業**

## 基本情報



【年　齢】
42歳
【出身地】
鹿児島県　姶良市
【転出元】
佐賀県　鳥栖市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ２．４～Ｒ５．３
（３年目）

## 協力隊に応募したきっかけ

就農する為,地域の農家さんが何を作っているかなど見てみたいと思ったからです。

## 今後の抱負・任期後の目標

湧水町幸田でもち麦や水稲の生産支援をしながら農業の経験を積み上げてきました。
　その経験を活かしつつ就農をしていきたいです。また，物産館などの運営についてもしていきたいと思っています。

## 活動内容

**●就農に向けた取組**

任期中，ハウス2棟を利用してトマトやトウモロコシ，オクラの栽培や路地によるニンジンなどの野菜類を物産館等に出荷してきました。今後も引き続き，トマトやニンジン等の生産をしていき，農地の規模拡大を図りたいと思っています。

**●物産館の運営**

最終年度からくりの物産館の館長を引き継ぐため経験をしてきました。期間終了後は,農業就農と併せて,物産館の運営も行っていきたいです。

**●棚田の景観保全及び地域活性化**

高齢化や後継者不足に伴い,遊休農地が増加する中で,「つなぐ棚田遺産」として認定された「幸田頭の棚田」で荒廃農地となっていた田んぼを再生させる取組を行いました。
農業体験をすることで後継者の育成や農業に興味を持ってくれる子供たちが増えたらいいなと思います。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
電話番号）0995-74-2908(湧水町栗野物産館)

# 鹿児島県屋久島町　大水　孝介

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
２３歳
【出身地】
福岡県　太宰府市
【転出元】
鳥取県　鳥取市
【前　職】
大学生（鳥取大学）
【活動時期】
R4.4~

## 協力隊に応募したきっかけ

もともとコケに興味を持っており、その中で屋久島というコケの宝庫に移住することを決めました。移住するにあたり、職を探していたところ、自由提案型での募集が屋久島町にてあり、自身の強みでもあるコケで仕事ができると考え、募集しました。

## 今後の抱負・任期後の目標

活動の目的でもある、屋久島のコケ産業を確立させること、それに必要なコケ農協を屋久島で始めたいと考えています。コケの生産を協力隊の任期中に増やしつつ、生産したコケを仕入れ、島内外に販売する農協のような企業を立ち上げたいです。

## 活動内容

**●コケの生産**

屋久島でのコケ生産を拡大していくために、まず屋久島でコケの生産が可能かどうかのテストを行っています。種類や場所も様々なパターンを試しており、どのような生産体制が屋久島に適しているのかを明らかにしたいと考えています。

**●コケのイベント**

コケの生産を拡大させるためにも、コケの魅力をより多くの人に知ってもらいたいです。そのためにもコケに興味を持ってもらうような企画として、野外での観察会、顕微鏡での観察、苔盆栽作りなどを行っています。

**●情報発信**

自身の活動をより多くの人に知ってもらうよう、情報発信にも努めています。SNSでの投稿はもちろん、地元ラジオへの出演や新聞への記事掲載なども積極的に行っています。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.Instagram.com/kokedou_
（note）https://note.com/kokedou_

# 沖縄県恩納村　中村　朋子

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
４６歳
【出身地】
和歌山県和歌山市
【転出元】
香川県高松市
【前　職】
旅行会社勤務
【活動時期】
Ｒ３.２月～

## 協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で勤めていた旅行会社が休業や、希望退職募集や出向などで、しばらくこの状況が続くと思いました。
これを機会に違ったことに挑戦したいと考え、住居が準備され信頼のおける機関が募集している「地域おこし協力隊」に興味を持ちました。
沖縄が大好きだったのと、仕事や旅行で何度も訪問した思い出のある恩納村に決めました。

## 今後の抱負・任期後の目標

地域の方に温かく迎えていただき、恩納村、また沖縄全体にとても愛着を感じています。
今後も地域のためになる仕事に携わりたいと考えています。

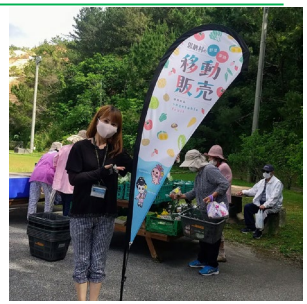
## 活動内容

**●農産物の集荷**

毎週金曜日の朝、高齢で免許を返納されたり、距離もあるので、出荷が困難恩納村北部の集荷に行っています。
農産物に関する情報収集や地域のことなどを知り、交流の場ともなっております。

**●移動販売**

地産地消の一つとして、地域の農産物は地域で使っていただきたいとの思いで、週に４日恩納村内の地域の方が集まる場所、ホテルや飲食店などで移動販売を行っております。
野菜や果物を売るだけではなく、地域の声やどのような品が必要なのかを実感します。




**●沖縄めんそーれフェスタ**

祭事やフェスタなど、恩納村の農産物や加工品をPRできる機会に参加させていただきます。
関東の沖縄ファンの方や沖縄出身の方が集まる機会となり、勉強になりました。

## 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.facebook.com/tomoko.nakamura.12576049

ONNASON.CHIIKIOKOSHI

# 沖縄県伊江村　中村　慎吾

**農業・林業**

## 基本情報

【年　齢】
38歳
【出身地】
千葉県　野田市
【転出元】
東京都　世田谷区
【前　職】
農業コンサルタント
【活動時期】
R元.7～R5.3（4年目）
※新型コロナウイルス感染症により活動に影響を受けた地域おこし協力隊員の任期特例を適用

## 協力隊に応募したきっかけ

前職で伊江村の方と知り合い、かつては落花生の大産地であったことを教えてもらいました。
沖縄県産の需要はあるにも関わらず、人口減や高齢化で島内に人手が足りず伸び悩んでいる状況を何とかできないかと思ったことと、コンサルタントとしてではなく地域に根差して取り組みたいという考えたことから、協力隊という形で関わることにしました。

## 今後の抱負・任期後の目標

在任中に立ち上げた落花生1次加工場の自主経営、落花生の生産量のさらなる増加、伊江島産落花生の販路拡大と新たな商品開発の促進を目指しています。
退任後の安定的な収入の確保がまだ課題ではありますが、任期後もそれらの活動に携わり、伊江島の落花生の地域商社的な役割を果たしたいです。
「農業」や「食料自給率の向上」は学生時代から前職、現在まで自分の人生を貫いているテーマなので、今後も死ぬまで貫き通していくことになると思います。

## 活動内容

### ●活動内容１　落花生の栽培を広めてます

伊江村は、昔から落花生（島の言葉で「ジーマミ」）が栽培されてきた離島の村です。出荷にかかる手間や安価な輸入品との競争により、生産量は減少傾向にありました。私の出身地・千葉県を参考にしながら、沖縄の環境に合った栽培方法を研究し、種用の落花生を栽培して希望者に配布することで新たに植える農家を増やしています。

### ●活動内容２　落花生の集出荷拠点を立ち上げました

沖縄産の落花生は希少なので製造業や飲食店からの問合せは多かったのですが、安定的に出荷する体制が整っていなかったため拠点となる1次加工場を立ち上げました。
建物は使われなくなった建物を活用し、設備は他産地を参考に最適だと思えるものを導入し、人員は農閑期の農家や主婦、福祉作業所などに声をかけて集まってもらいました。

### ●活動内容３　伊江島産落花生の宣伝隊長をやっています

村内外のイベントに出て一般の消費者向けにPRしたり、都市部で飲食店関係者向けの試食宣伝会を開催するなど、伊江島の落花生を村内外に知ってもらうための活動にも取り組んでいます。

## 連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakamura@iejima.org
（電話番号）　　0980-49-3161（伊江村役場農林水産課内）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://Instagram.com/iejima_iju_official